

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(令和5年度対象)

令和6年8月

能代市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
1	趣旨	
2	事務点検・評価の実施	
3	事務点検・評価の方法	
4	事務点検・評価の流れ	
II	事務点検・評価の結果	3
1	学識経験者の総合的意見	
2	施策体系と評価一覧	
基本目標 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進		
①	学校・家庭・地域の連携促進	9
②	親子で学び合う機会の提供	1 4
③	家庭教育の支援	1 5
④	読書活動の推進	1 6
⑤	食育の推進	1 7
基本目標 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進		
①	主体的で創意ある教育活動の推進	2 2
②	心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進	2 4
③	基礎学力の向上を図る学習指導	2 7
④	幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	3 1
⑤	安全・安心な学校教育の充実と環境の整備	3 4
基本目標 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進		
①	生涯にわたる多様な学びの機会の提供	4 2
②	学びと活動をつなげる環境づくり	4 5
③	若者の主体的な活動や地域活動への参画推進	4 7
基本目標 4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興		
①	子どもの文化体験活動支援	5 0
②	地域固有の文化芸術の継承	5 2
③	文化財等の調査・保存・活用の推進	5 4
基本目標 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
①	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	6 0
②	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	6 2
③	スポーツを活用した地域の活性化	6 4
④	市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	6 6
III	教育委員会の運営状況	6 8
1	教育委員会の開催状況	
2	教育委員の活動状況	

I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「事務点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し公表します。

2 事務点検・評価の実施

能代市では、「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を基本理念に、最優先すべき目標を「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」と定め、令和5年度から5年間を計画期間とした「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」（以下「大綱」という。）を令和5年3月に策定しました。

事務点検・評価の実施にあたっては、この大綱を踏まえ、次により行います。

（1）事務点検・評価の位置づけ

事務点検・評価は、大綱の進行管理として実施し、第2次能代市総合計画の進行管理と併せてPDCAサイクルを確立し、より効率的な事業進捗を図るとともに、効果的な教育行政を推進します。

（2）事務点検・評価の対象

事務点検・評価の対象は、大綱の基本目標及び施策の方向性に沿った主な事業や取組とし、その実績や成果を自己点検、自己評価したうえで、課題と今後の方向性を整理します。

3 事務点検・評価の方法

事務点検・評価は、目標に対する達成状況や成果等を基準に自己評価を行い、「目標を上回る」、「ほぼ目標どおり」、「目標をやや下回る」、「目標を大幅に下回る」の4区分とし、今後の取組の方向性は、「拡充」、「継続」、「廃止検討」、「その他」の4区分とします。

また、事務点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から外部評価をしていただきます。

秋田大学教育文化学部長	大 橋 純 一 氏
元第五小学校校長	石 川 智 也 氏

4 事務点検・評価の流れ

（1）所管課による事務点検・評価

教育部各課及び施設等は、所管の対象事務について、事務点検・評価案（事務点検・評価シート）を取りまとめます。

（2）内部評価

所管課がまとめた事務点検・評価案を部内検討し、次年度に向けた課題や今後の取組の方向性を定めます。

(3) 学識経験者による外部評価

事務点検・評価案に関して学識経験者の外部評価を経て、事務点検・評価報告書（以下「報告書」という。）を作成します。

(4) 教育委員会の議決

報告書を教育委員会に諮り議決をします。

(5) 議会への提出及び公表

報告書を議会へ提出し、ホームページ等で市民に公表します。

(6) 報告書の活用

能代市総合計画の第4期実施計画の策定や翌年度予算編成において、事務点検・評価を踏まえた的確な対応に努めます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 事務点検・評価の結果

1 学識経験者の総合的意見

大橋 純一 氏

まず大綱に策定されている5つの基本目標が、基本理念（学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代）の実現にはどれも欠くことのできない重要な観点であり、それぞれが連動して有効に働いていると感じました。特に、次世代を育むまちづくりの推進を基調としながら、学校、家庭、地域、行政が連携・協働して多様な活動を展開し、それによって人々が繋がり、世代間で支え合う関係が生まれていることは、地域社会の相応しいあり方を示す一例として、他の自治体にも大いに参考になるのではないかと感じました。同時に以上は、とりもなおさず、大綱の取りまとめに尽力くださっている方々が、能代市の強みとともに、将来に向けた課題についても、確かな観察眼をもってしっかりと認識されていることの現れなのだろうとも理解しました。

全体を通して印象深かったのは、基本目標のいずれにおいても、多様な企画や活動の機会が提供されていること、またそれらへの参加が世代を問わず大変に盛況であった点です。こうした市民参加は、おそらくはコロナ禍を経験し、厳しい行動制限を強いられてきた私たちが、やはり人との繋がりや交わりこそが暮らしの基本であることを改めて考えさせられたことによるものと推察します。こうした気運は、新しいまちづくりの好機と捉えて、5年度以上に充実した取り組みを期待したいと思います。

しかしその一方で、檜山舞保存会・田代郷土芸能保存会の解散や、二ツ井小学校正課クラブ活動（仁鮎ささら踊）の廃止など、このコロナ禍を機に、従前にも増して活動が先細りとなっているものがあることは残念に思いました。伝統文化の継承は、その重要性は誰もが認めるところですが、今や後継者不足等で負担感も大きく、時代や社会の変化とも相まって、特段に意識されなければ縮小・淘汰の方向に向かうことが必定です。コロナ禍の空白期間はそのことに拍車をかけたとも言えるでしょう。基本目標の項にも書いたとおり、活動自体が負担となってしまう継承の取り組みは慎むべきですが、基本理念にある「“わ”のまち能代」を体現するには他でもなく、そこに暮らす人々が能代のよさを知り、誇りと愛着をもってふるさとに向き合えることが大切です。継承などというと重責の方が先に立って一歩が踏み出しにくいでしょうから、ともに学び楽しむ催しの趣旨を強めるなどして、少しでも前に進められる仕組みを模索していただけるとありがたいと思います。

最後に、細部にわたり不断の目配りをしながら、様々な事業・活動に直接関わっておられる方々に敬意を表します。能代市が、各基本目標の遂行を通して「より心豊かで生き活きとした暮らし（目標3）」を、そしてまた「夢のあるまちづくり（目標5）」を推進くださることは、秋田県全体のそれ（豊かで、生き活きとした、夢のある暮らしとまちづくり）に通じ、その実現にも大きく寄与するものと思われまふ。引き続き、ご尽力を賜りますようお願いいたします。

石川 智也 氏

令和5年5月からコロナが5類に移行され、年度途中から各種取組に影響が出たことと思います。その中で、各目標の全てが「ほぼ目標どおり以上」で、有意義な活動が実施されました。教育委員会の皆様が、目標と実践内容を明確にして取り組んだ成果といえます。

その中の成果として印象に残るのは、次の3点です。

- ① 学習状況調査、体力テスト等から、主体的な深い学びや、心身共に健康な生活を送るための施策が充実して行われていたということがわかります。特に学習状況調査では、全国学力学習状況調査で各項目上位の秋田県の中で、ほとんどの項目が平均を上回り、体力テストでも、全国トップレベルの県平均を半分以上、上回っていました。子どもたちの健全育成にご尽力いただいた皆様に敬意を表すと共に、現状を維持・推進させるための今後の取組にも期待しています。
- ② いじめ・不登校対策、特別支援等で、個に応じた支援が適切になされていました。いじめに関しては、校内外で組織的に連携をとっての取組、不登校に関しては、はまなす広場、風の子相談など、子どもの居場所づくりや話を聞く活動が一人一人の子どもに対して有効にはたらいていました。特別支援では、特別支援教育支援員・指導員が個に応じた支援を行っていたし、低学年のステップアップ教室では、きめ細かな指導・支援が行われていました。
- ③ 大規模な改修工事が計画通りに実施され、学校施設が改善されたということと、ICTの有効活用が行われたということです。教育現場で、4年度に更新された新しいプールやエアコンの設置により、子どもたちが、より生き生きと活動している姿が見られました。ICTに関して、学校内でのインターネット接続が可能になり、学習の幅が広がりました。特に一人に一台のタブレット使用を通じての活動は、今後さらなる広がりを見せ、将来につながっていくことと思います。

今後の要望として、次の2点をあげます。

- ① 様々な家庭環境の中、多様性に関する問題や、子どもの保護に関する問題、保護者等からのクレーム対応など、学校のデリケートな問題の外部対応が増加していて、教職員の多忙化にも繋がっています。連絡調整にあたる有識者（教員退職者等）を各学校、あるいは2、3校に一人配置できれば、きめ細かな外部対応ができるようになると思います。
- ② 少子化問題への教育委員会としてのアプローチについて。能代市全体としても現状で、様々な取組がなされていると思いますが、子育てしやすい環境、ふるさと教育などから、ふるさとを担う子どもの育成、各種補助制度の見直しなど、考えていただければと思います。

以上、前に教育現場にいたものとして意見を述べさせていただきましたが、これまでの取組は間違いなく大きな成果をあげています。今後も市民のため積極的に活動していただくことを期待しています。

2 施策体系と評価一覧

基本目標		
施策の方向性		
事業・取組		5年度評価
1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進		
①学校・家庭・地域の連携促進		
青少年健全育成事業		B ほぼ目標どおり
放課後子ども教室推進事業		B ほぼ目標どおり
子ども館活動事業		B ほぼ目標どおり
②親子で学び合う機会の提供		
公民館活動事業		B ほぼ目標どおり
③家庭教育の支援		
家庭教育支援事業		A 目標を上回る
④読書活動の推進		
読書活動推進事業		B ほぼ目標どおり
⑤食育の推進		
1 学校給食事業		B ほぼ目標どおり
2 食について理解を求める体験活動事業		
2 豊かな人間性を育む学校教育の推進		
①主体的で創意ある教育活動の推進		
1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進		B ほぼ目標どおり
2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）活動の充実		
②心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進		
自己表現を支える生徒指導		B ほぼ目標どおり
③基礎学力の向上を図る学習指導		
1 基本的な学習習慣の確立		B ほぼ目標どおり
2 子どもが主体的に取り組める学習指導		
3 評価を生かした授業改善		
4 ねらいに即したICTの効果的な活用		
5 AIドリルを活用した学びの個別最適化		
④幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修		
1 学力向上のための研修		B ほぼ目標どおり
2 安全・安心な学校づくりのための研修		
3 学びをより豊かにするための研修		
⑤安全・安心な学校教育の充実と環境の整備		
学校安全の推進		B ほぼ目標どおり
就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進		B ほぼ目標どおり
1 学校施設の老朽化対策等の推進		B ほぼ目標どおり
2 学校施設の環境改善の推進		
3 より心豊かで活き活きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進		
①生涯にわたる多様な学びの機会の提供		
生涯学習推進事業		A 目標を上回る
図書館管理運営事業		A 目標を上回る
②学びと活動をつなげる環境づくり		
公民館活動事業・勤労青少年ホーム活動事業・働く婦人の家活動事業・市民文化振興事業		B ほぼ目標どおり
③若者の主体的な活動や地域活動への参画推進		
公民館活動事業・勤労青少年ホーム活動事業・働く婦人の家活動事業		B ほぼ目標どおり
4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興		
①子どもの文化体験活動支援		
市民文化振興事業・文化会館主催事業		B ほぼ目標どおり
②地域固有の文化芸術の継承		
民俗芸能振興事業		B ほぼ目標どおり
③文化財等の調査・保存・活用の推進		
文化財保護事業・能代文化財資料収蔵庫管理		B ほぼ目標どおり
檜山安東氏城館跡保存管理事業		B ほぼ目標どおり
5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実		
1 子どもの体力向上の推進		B ほぼ目標どおり
2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進		
②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		
1 青・壮年金におけるスポーツ参加機会の拡充		B ほぼ目標どおり
2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備		
3 健康づくり運動の推進		
③スポーツを活用した地域の活性化		
1 スポーツを活用した地域づくり		B ほぼ目標どおり
2 スポーツによる交流人口の拡大		
3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進		
④市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備		
1 地域スポーツ指導者等の充実		B ほぼ目標どおり
2 スポーツ施設の充実		
3 スポーツに関する表彰制度の整備		

基本目標

1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進

学校・家庭・地域・行政が協働で、地域の特性や人材を活かした学習機会の充実を図り、子どもの社会性を育みます。また、子どもと大人がともに学び合う機会をつくりまします。

【施策の方向性】

① 学校・家庭・地域の連携促進

学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。

② 親子で学び合う機会の提供

親子で楽しみながら参加できる地域学習や異世代交流の機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、子どもの社会性を育みます。

③ 家庭教育の支援

時代の変化や子どもの成長過程に応じた情報提供や相談、様々な学習機会の提供を行い、家庭教育を支援します。

④ 読書活動の推進

思いやりや読解力、想像力を育む読書活動を推進し、気軽に読書に親しむことができる環境を整備します。

⑤ 食育の推進

学校給食や食について理解を深める体験活動事業を通して、子どもの健やかな成長を支援します。

学識経験者の意見（基本目標 1）

大橋 純一 氏

基本目標に「子どもの社会性を育む」とあります。「社会性」にはコミュニケーション能力や協調性、マナー・モラルなどが内包され、人の成長には欠かせない要素ではありますが、これらは実際に社会の現場に足を踏み入れ、多くのヒトやモノに接し、体験を重ねることによってはじめてもたらされるものだと考えます。そして言うまでもなく、その場や機会を提供するのは私たち大人の役割です。そうした観点から今年度の取り組みを見ますと、

- ・地域の伝統芸能等を含めた学校祭の支援
- ・地域の特性を生かした各種イベント（ロボット・プログラミング、星空観察、ミニ工作、ロケット打ち上げのパブリックビューイング等）の開催
- ・それらの知見を得るための各種講座（出張ファミリー講座、家庭教育講座、読書活動推進講座等）の開催
- ・学習環境の提供を意図した読書活動、家庭教育、食育指導の推進
- ・次世代（中高生）の地域参画を意図したボランティア活動の推進

等々、多様な社会との接点と、それに関わる具体的な実践があったことがうかがえます。また、それらがいずれも学校と家庭の緊密な連携を基礎としていることはもとより、地域・行政との協働も相まって、まさに“学び合い”の仕組みが形成されていることを高く評価したいと思います。次年度に向けて、これらの活動が継続・発展することを期待します。

石川 智也 氏

基本目標 1 の事業・取組について、全ての評価がほぼ目標通り達成されており、学校・家庭・地域・行政が一体となった施策が効果的に行われたことがわかります。

青少年健全育成では、地域ボランティア活動への参加が有意義で、今後も参加率を伸ばしていったほしい活動です。特に人との関わりを体験させることが、子どもの成長に繋がると思います。参加人数が増えるように内容の充実や宣伝活動を図ってってください。

放課後子ども教室は、地域の実態や子どもたちのニーズに対応した活動が行われています。学校以外での子どもの指導は難しい場面がよく見られます。指導者どうしの協力や、研修等を通じて、適切な対応ができるようにしてください。また、継続するために安全管理員等の確保に努めてってください。

子ども館事業は、他にあまり例のない魅力的な活動が豊富で、参加者の高い満足度につながっていると捉えることができます。プラネタリウムや宇宙教育に通じる展示等貴重なものを通じて、夢のある活動を、今後も自信を持って推進してってください。

親子での参加を中心とした公民館活動事業は貴重なもので、今後も保育園・幼稚園・小中学校など各方面と連携しながら、進めていったほしいものです。

家庭教育推進事業は、各講座参加者の高い満足度から、充実した取組がなされたことがわかります。特に小学校入学時の保護者や、孫に対する祖父母は、子どもを育てることに対して、不安を感じるが多々あり、今後も進んで講座やお便り等で支援してってください。同時に、保護者等が悩みや不安を相談しやすいような体制や環境作りも、これまでのように進めてってください。

読書活動推進事業では、不読率が県平均を下回り、読書活動推進の成果が現れていることが確認されました。「能代っ子家読通帳」や学校での図書委員会活動、司書や教師の働きかけ等が個の読書意欲に繋がっているように感じます。計画的に推進していきましょう。

学校給食事業と食についての体験活動は、食の重要性を示していくことで、朝食を食べる子どもの割合が高く安定しています。地域の食材を使つてのメニューは、ふるさと教育にも通じ、生産者を身近に感じる意味でも有意義です。給食の時間は「楽しい給食」「おいしい給食」の視点で、アフターコロナでの給食時間のあり方を考えていってほしいです。

事業・取組	青少年健全育成事業	1-①																				
方針・目標	学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。																					
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9															
	中学生・高校生におけるボランティア活動参加率 (実績値) = ((延べ参加者数) / (中学生・高校生相当数)) × 100 [目標設定基準: R4 実績値]	目標	8.6%以上																			
		実績	8.3%																			
実績及び成果	1 中学生・高校生におけるボランティア活動への参加状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ボランティア活動の名称</th><th>参加回数</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」</td><td>3回</td><td>26人</td></tr> <tr> <td>きみまちの里フェスティバル</td><td>1回</td><td>75人</td></tr> <tr> <td>中高生ボランティア育成講座</td><td>7回</td><td>79人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>11回</td><td>180人</td></tr> </tbody> </table> 2 青少年健全育成活動者に対する支援 ・「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」等への支援（青少年育成能代市民会議等） ・街頭パトロールへの支援（能代地区少年保護育成委員会等）							ボランティア活動の名称	参加回数	参加者数	青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」	3回	26人	きみまちの里フェスティバル	1回	75人	中高生ボランティア育成講座	7回	79人	合 計	11回	180人
ボランティア活動の名称	参加回数	参加者数																				
青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」	3回	26人																				
きみまちの里フェスティバル	1回	75人																				
中高生ボランティア育成講座	7回	79人																				
合 計	11回	180人																				
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																			
	[説明] ・中学生・高校生におけるボランティア活動への参加率は8.3%で、目標値の8.6%との差は△0.3ポイントであった。 ・「地域の方と交流できてよかった。」「将来希望している仕事に関連した活動に参加できてよかった。」等の声が寄せられるなど、参加者の感想は概ね好評であった。 【中学生・高校生におけるボランティア活動への参加率（5年度）】 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>ボランティア活動参加者数</td><td>180人</td></tr> <tr> <td>中学生・高校生相当数（年度末時点）</td><td>2,151人</td></tr> <tr> <td>参加率</td><td>8.3%</td></tr> </tbody> </table>							ボランティア活動参加者数	180人	中学生・高校生相当数（年度末時点）	2,151人	参加率	8.3%									
ボランティア活動参加者数	180人																					
中学生・高校生相当数（年度末時点）	2,151人																					
参加率	8.3%																					
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] 今後も引き続き、中学生・高校生が地域のボランティア活動に関心を持ち、自主的にボランティア活動に参加する機運づくりに努める。																					

事業・取組	放課後子ども教室推進事業						1-①		
方針・目標	学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。								
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9	
	各小学校区での週末体験活動の実施回数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:7校区×5回]		目標	35回以上					
			実績	30回					
実績及び成果	1 放課後子ども教室の実施状況								
	区分	4年度				5年度			
		実施校区数	実施日数	参加者数	平均	実施校区数	実施日数	参加者数	平均
	図書室等開放	7校区	1,373日	17,859人	1.8人	7校区	1,387日	21,996人	2.2人
	体育館開放	3校区	73日	1,267人	5.7人	3校区	64日	869人	4.5人
	プール開放	7校区	78日	4,825人	8.8人	7校区	87日	6,200人	10.1人
	週末体験活動	7校区	34日	436人	12.8人	7校区	30日	381人	12.7人
	合計		1,558日	24,387人			1,568日	29,446人	
	(週末体験活動の主な内容) ・カヌー体験、キウイの摘み取り体験、ブルーベリー収穫体験等								
	2 地域学校協働活動の実施状況 地域学校協働活動推進員を13名委嘱(全小・中学校各1名) (活動の主な内容) ・学習支援(授業補助、職場体験、新入生の給食補助等) ・安全確保(登下校指導、学区内パトロール等) ・学校祭等の支援(学校祭、学校七夕、地域の伝統芸能等)								
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る						
	[説明] ・週末体験活動の実施回数は、7小学校区のうち4校区が5回、2校区が4回、1校区が2回の合計30回で、目標値との35回との差は△5回であった。 ・目標達成できなかった理由は、天候不良による活動中止など、やむを得ない内容であった。								
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他()								
	[具体的な課題及び取組] ・高齢化や地域の繋がりの希薄化等により、安全管理員等の人材確保が難しい状況にある。 ・様々なネットワーク等を生かしながら、今後も引き続き安全管理員等の人材を確保するとともに子どもの安全・安心な居場所づくりに努める。								

事業・取組	子ども館活動事業						1-①	
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	講座受講者の満足度 (実績値)=(受講者アンケートの肯定的回答の割合)	目標	90%以上					
		実績	94.7%					
実績及び成果	1 来館者の推移							
	区分		4年度		5年度			
	総来館者数		26,742人		36,457人			
	プラネタリウム観覧者数		4,959人		6,664人			
	事業活動参加者数		303件、3,769人		455件、7,638人			
	プラネタリウム団体観覧者数		66件、1,587人		59件、1,707人			
	2 イベント・講座等実績							
	(1) 主なイベント・講座							
	・ 星空のプラネタリウム♪ (熟睡プラ寝たリウム含む)				2件、	88人		
	・ ペットボトルロケット教室				6件、	69人		
	・ モデルロケット教室				6件、	43人		
	・ スペースラボ				6件、	37人		
	・ コズミックカレッジ				4件、	33人		
	・ 自然観察会				2件、	27人		
	・ 風の松原チャレンジ!				1件、	11人		
	・ かがくあそび				12件、	183人		
	・ ロボット・プログラミング講座				32件、	211人		
	・ 星空観察会				4件、	76人		
	・ 『N. らぼ』の科学実験				2件、	45人		
	・ わくわくミニ工作				6件、	85人		
(2) 特別イベント								
・ 「はやぶさの日」イベント								
ターゲットマーカーをつかってあそぼう!				3件、	45人			
プラネタリウム無料投映				5回、	150人			
・ のしろ銀河フェスティバル 2023								
ペットボトルロケット工作教室				2件、	39人			
ペットボトルロケット打ち上げ大会				2件、	46人			
作って飛ばそう! バルーンロケット				2件、	38人			
ギャラリートーク「ペンシルロケットと日本のロケット開発」				4件、	69人			
プラネタリウム無料投映				10回、	565人			
特別展示「日本のロケット開発の原点 ペンシルロケット実物を見てみよう」				7日間、	2,351人			
・ プラネタリウム100周年記念企画								
プラネタリウムクイズラリー				13日間、	86人			
手作りプラネタリウム				1件、	13人			

	特別投映「プラネタリウム100周年」 1回、28人						
	・パブリックビューイング						
	X線分光撮像衛星（XRISM）/小型月着陸実証機（SLIM） 打上げ		7人				
	H3ロケット試験機2号機 打上げ		21人				
	カイロスロケット初号機 打上げ		26人				
	(3) 展示室を活用した宇宙科学への関心を高める工夫						
	・スペシャルミッション！【新規】						
		幼児～小学3年生	小学4年生～一般				
	参加者数	414人	210人				
	正解者数	407人	168人				
	・子ども館ウォークラリー【リニューアル】		18件、43人				
	・子ども館クイズラリー【新規】		156件、228人				
	・子ども館宇宙検定						
		初級編	中級編				
	参加者数	77人	19人				
	合格者数	55人	15人				
	・宇宙ラボガイド【名称変更】		66件、583人				
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
	[説明] ・講座満足度アンケートに「満足」「やや満足」と回答した参加者の割合は94.7%で、目標値90%との差は+4.7ポイントであった。 ・一方で、令和4年度アンケート結果に比べ「やや不満足」「不満足」の回答割合が増えた。 【講座受講者アンケート結果（5年度）】 ※()は4年度数値						
	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	計
	人数(人)	543 (616)	58 (50)	28 (17)	4 (1)	2 (2)	628 (686)
	割合(%)	85.5 (89.8)	9.2 (7.3)	4.4 (2.5)	0.6 (0.1)	0.3 (0.3)	
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他 ()						
	[具体的な課題及び取組] ①展示室「ノビシロ宇宙ラボ」の活用 リニューアルした1階の体験型展示、JAXA宇宙科学研究所の全面協力による2階の衛星模型等を活用し、市が掲げる「宇宙のまち」を感じることができる身近な施設として、子どもから大人まで楽しみながら宇宙や科学について学べる機会を提供する。 ②宇宙教育の充実 ・モデルロケット教室やペットボトルロケット教室の開催 ・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関連機関・団体との連携 ・能代市や秋田県にも関係のあるロケット打上げ等の情報発信 ③子ども館事業の充実 事業内容PRによるリピーターや新規利用者の獲得を目指し、驚きや感動を引き出す科学実験講座、地域の自然環境に理解を深める体験活動等、内容の充実						

	を図る。 ④デジタルプラネタリウムの利用拡大 プラネタリウム番組の放映のほか、熟睡プラ寝たリウム等の大人でも気軽に星空を楽しめる事業を実施し、利用者層の拡大を図る。 ⑤小・中学校、高校との連携強化 ・学習プラネタリウム（プラネタリウムを用いた天体関連の授業）の実施 ・施設見学、職場体験（中学生）、インターンシップ（高校生）等の受け入れ
--	---

事業・取組	公民館活動事業					1-②																																									
方針・目標	親子で楽しみながら参加できる地域学習の機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、子どもの社会性を育みます。																																														
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																								
	中央公民館開催事業の参加者数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	367人以上																																												
		実績	380人																																												
実績及び成果	1 中央公民館開催事業内訳 (数値は延べ数) <table border="1"> <tr> <th>分野</th><th>事業名</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr> <tr> <td rowspan="10">家庭教育</td><td rowspan="5">親子わくわく教室</td><td>親子でふれあいヨガ体験</td><td>16人</td></tr> <tr> <td>ぼくもわたしも陶芸家 (2回)</td><td>45人</td></tr> <tr> <td>わくわくパステル和みアート講座</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>米粉のどら焼き</td><td>22人</td></tr> <tr> <td>リトミック講座</td><td>23人</td></tr> <tr> <td rowspan="2">親子でTOMO育講座</td><td>カラフルキャンドル&フォトフレーム講座</td><td>26人</td></tr> <tr> <td>親子でレッツダンス!</td><td>28人</td></tr> <tr> <td rowspan="4">出張ファミリー講座</td><td>リトミックで親子のふれあい (まつばら保育園)</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>リトミックで体を動かそう! (能代南幼稚園)</td><td>38人</td></tr> <tr> <td>サイエンスショー (第五小学校一年部父母の会)</td><td>61人</td></tr> <tr> <td>親子で心の触れ合いリトミック (能代カトリック子ども園)</td><td>26人</td></tr> <tr> <td></td><td>親子でリズムトレーニング (愛慈幼稚園)</td><td>57人</td></tr> <tr> <td>計</td><td>3事業</td><td>13回</td><td>380人</td><td colspan="3"></td></tr> </table>							分野	事業名	内容	参加者数	家庭教育	親子わくわく教室	親子でふれあいヨガ体験	16人	ぼくもわたしも陶芸家 (2回)	45人	わくわくパステル和みアート講座	15人	米粉のどら焼き	22人	リトミック講座	23人	親子でTOMO育講座	カラフルキャンドル&フォトフレーム講座	26人	親子でレッツダンス!	28人	出張ファミリー講座	リトミックで親子のふれあい (まつばら保育園)	23人	リトミックで体を動かそう! (能代南幼稚園)	38人	サイエンスショー (第五小学校一年部父母の会)	61人	親子で心の触れ合いリトミック (能代カトリック子ども園)	26人		親子でリズムトレーニング (愛慈幼稚園)	57人	計	3事業	13回	380人			
分野	事業名	内容	参加者数																																												
家庭教育	親子わくわく教室	親子でふれあいヨガ体験	16人																																												
		ぼくもわたしも陶芸家 (2回)	45人																																												
		わくわくパステル和みアート講座	15人																																												
		米粉のどら焼き	22人																																												
		リトミック講座	23人																																												
	親子でTOMO育講座	カラフルキャンドル&フォトフレーム講座	26人																																												
		親子でレッツダンス!	28人																																												
	出張ファミリー講座	リトミックで親子のふれあい (まつばら保育園)	23人																																												
		リトミックで体を動かそう! (能代南幼稚園)	38人																																												
		サイエンスショー (第五小学校一年部父母の会)	61人																																												
親子で心の触れ合いリトミック (能代カトリック子ども園)		26人																																													
	親子でリズムトレーニング (愛慈幼稚園)	57人																																													
計	3事業	13回	380人																																												
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																												
	[説明] ・中央公民館開催事業の参加者数は380人で、目標値367人との差は+13人であった。 ・中央公民館指定管理者と締結している基本協定書において、児童及び保護者を対象に、子どもと大人がともに学び合う機会を提供するために年2事業以上行うこととしており、これを上回る3事業の実施であった。																																														
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] 引き続き指定管理者と情報交換を密にして、親子で楽しみながら参加できる地域学習の機会の提供に努める。																																														

事業・取組	家庭教育支援事業					1-③																															
方針・目標	時代の変化や子どもの成長過程に応じた情報提供や相談、様々な学習機会の提供を行い、家庭教育を支援します。																																				
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																														
	講座受講者の満足度 (実績値)=(受講者アンケートの肯定的回答の割合)	目標	90%以上																																		
		実績	95%																																		
実績及び成果	1 保護者を対象とした家庭教育講座 「家庭教育の必要性とその大切さについて」「小学校入学が近づいた子どもとの関わり方について」「性教育及び命の大切さに関すること」等 24回開催（受講者 612 人） 2 祖父母等を対象とした「集まれ！おじいちゃん、おばあちゃん（孫かて）講座」 1回開催（受講者 7 人） 3 次代の親を対象とした家庭教育（育児体験） 5回開催（参加者 20 人） 4 家庭教育通信「Only one」の発行 3回発行 (参 考) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">4 年度</th><th colspan="2">5 年度</th></tr> <tr> <th>開催数</th><th>受講者数</th><th>開催数</th><th>受講者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育講座</td><td>29 回</td><td>706 人</td><td>24 回</td><td>612 人</td></tr> <tr> <td>孫かて講座</td><td colspan="2">(コロナ禍により中止)</td><td>1 回</td><td>7 人</td></tr> <tr> <td>育児体験</td><td>2 回</td><td>4 人</td><td>5 回</td><td>20 人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>31 回</td><td>710 人</td><td>30 回</td><td>639 人</td></tr> </tbody> </table>								区 分	4 年度		5 年度		開催数	受講者数	開催数	受講者数	家庭教育講座	29 回	706 人	24 回	612 人	孫かて講座	(コロナ禍により中止)		1 回	7 人	育児体験	2 回	4 人	5 回	20 人	合 計	31 回	710 人	30 回	639 人
区 分	4 年度		5 年度																																		
	開催数	受講者数	開催数	受講者数																																	
家庭教育講座	29 回	706 人	24 回	612 人																																	
孫かて講座	(コロナ禍により中止)		1 回	7 人																																	
育児体験	2 回	4 人	5 回	20 人																																	
合 計	31 回	710 人	30 回	639 人																																	
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る [説明] ・講座受講者アンケートの肯定的回答の割合は 95%で、目標値 90%との差は+5.0 ポイントであった。 ・「子どもを褒めることの重要性を知ることができた。」「子どもと向き合う時間を大切にしたいと思った。」等の声が寄せられるなど、受講者の感想は概ね好評であった。																																		
課題及び今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] 講座の内容等を工夫しながら、今後も引き続き、保護者が子どもに対して行う教育（家庭教育）の支援に努める。																																				

事業・取組	読書活動推進事業						1-④	
方針・目標	思いやりや読解力、想像力を育む読書活動を推進し、気軽に読書に親しむことができる環境を整備します。							
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9
	不読率（1 か月に 1 冊も本を読まない子どもの割合）県平均との差		目標	0 ポイント未満				
	(実績値)=(各学年((県平均)-(市割合))の計)/(学年数)		実績	△2.7 p				
実績及び成果	(主な取組内容（第2次能代市子ども読書活動推進計画に基づいた取組）) 1 「能代っ子家読通帳」を作成し、小学生、中学生へ配付 2 秋田杉製ブックスタンドキットを作製し、小学4年生へ配付 3 様々な方のおすすめ本を広報のしるで紹介 「読んでみて！わたしの推し本」(11 回掲載) 4 読書活動推進講座 「局地的な大雨から身を守るために」(参加者 27 人)							
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る					
	[説明]							
	・不読率県平均との差は△2.7 ポイントで、目標値 0 ポイントとの差は△2.7 ポイントであった。							
	【不読率（県学習状況調査）】							
	区 分	4 年度		比較	5 年度		比較	
		能代市	県平均		能代市	県平均		
	小学4年	5.3%	5.5%	△0.2 p	7.1%	4.9%	+2.2 p	
	小学5年	0.7%	7.2%	△6.5 p	1.8%	7.3%	△5.5 p	
	小学6年	3.2%	7.5%	△4.3 p	1.5%	9.3%	△7.8 p	
	中学1年	10.5%	9.8%	+0.7 p	7.9%	10.0%	△2.1 p	
	中学2年	9.7%	13.3%	△3.6 p	13.0%	13.7%	△0.7 p	
平 均	—	—	△2.7 p			△2.7 p		
課題及び今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・「第2次能代市子ども読書推進活動計画」の計画期間が6年度をもって終了することから、本年度中に第3次計画を新たに策定する。 ・今後も引き続き、学校・家庭・地域との連携を図りながら読書活動の推進に努める。							

事業・取組	1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業						1－⑤																																												
方針・目標	1 健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 2 食の安全・安心に関する知識の提供に努めます。																																																		
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																												
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合 (実績値)=(全国学力・学習状況調査結果)	目標	95%以上																																																
		実績	95.0%																																																
実績及び成果	1 学校給食事業 ・給食だより（予定献立表）や食育だよりを発行し、家庭への食育情報を提供。朝ごはんの効果等をアピールし、「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。 （各調理場月1回） ・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関する情報提供を行った。 （南部4回北部3回、二ツ井4回） ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。 （南部13回、北部9回、二ツ井9回） ・食育の日（毎月19日）に地場産物を多く使った献立を提供した。 （各調理場月1回） ・地域の食材をふんだんに使い、能代らしさがつまった「天空の能代まんぷく給食」（3調理場栄養士考案市内小中学校統一メニュー R3～）を提供。当日は、給食一口メモや家庭へのお便りを配布し、地域の食材への理解を深めた。 ・給食写真や給食に関する話題、地域の食材、調理の様子などの動画を第四小学校のブログで紹介。栄養教諭が毎日更新している。（南部共同調理場） ・中学校3年生を対象に、もう一度食べたい給食のアンケートをとり、卒業間近に「リクエスト給食」を提供し、好評であった。（北部共同調理場） ・家庭科で6年生が考案した学校給食献立を、献立表で紹介するとともに実際に給食で提供した。 （二ツ井共同調理場、北部共同調理場） 学校給食における主な品目の県内産の使用割合【学校給食物資使用調査】 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">3年度</th><th colspan="2">4年度</th></tr><tr><th>市</th><th>県平均</th><th>市</th><th>県平均</th></tr><tr><td>野菜</td><td>37.6%</td><td>31.5%</td><td>36.0%</td><td>25.5%</td></tr><tr><td>果物</td><td>83.5%</td><td>88.8%</td><td>87.3%</td><td>87.9%</td></tr><tr><td>肉類</td><td>61.1%</td><td>57.5%</td><td>59.3%</td><td>35.3%</td></tr><tr><td>魚類</td><td>12.2%</td><td>8.1%</td><td>0.0%</td><td>5.8%</td></tr><tr><td>大豆製品</td><td>82.5%</td><td>87.0%</td><td>89.3%</td><td>78.8%</td></tr><tr><td>穀類・乳類</td><td>100.0%</td><td>97.5%</td><td>100.0%</td><td>98.4%</td></tr><tr><td>総合計</td><td>81.9%</td><td>78.7%</td><td>81.0%</td><td>75.4%</td></tr></table> 2 食について理解を深める体験活動事業 ・給食保護者試食会やPTAにおいて、食育に関する講話、資料提供を行った。 （南部共同調理場）							区分	3年度		4年度		市	県平均	市	県平均	野菜	37.6%	31.5%	36.0%	25.5%	果物	83.5%	88.8%	87.3%	87.9%	肉類	61.1%	57.5%	59.3%	35.3%	魚類	12.2%	8.1%	0.0%	5.8%	大豆製品	82.5%	87.0%	89.3%	78.8%	穀類・乳類	100.0%	97.5%	100.0%	98.4%	総合計	81.9%	78.7%	81.0%	75.4%
区分	3年度		4年度																																																
	市	県平均	市	県平均																																															
野菜	37.6%	31.5%	36.0%	25.5%																																															
果物	83.5%	88.8%	87.3%	87.9%																																															
肉類	61.1%	57.5%	59.3%	35.3%																																															
魚類	12.2%	8.1%	0.0%	5.8%																																															
大豆製品	82.5%	87.0%	89.3%	78.8%																																															
穀類・乳類	100.0%	97.5%	100.0%	98.4%																																															
総合計	81.9%	78.7%	81.0%	75.4%																																															

	・給食保護者試食会において、学校給食に関する講話、資料提供を行った。 (二ツ井共同調理場) ・放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。(10回、延べ180人) ・中央公民館、二ツ井公民館、各地区公民館などにおいて、食に関する講座を開催した。(12回、延べ148人)										
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る								
	[説明] ・朝食を毎日食べる児童生徒の割合は95.0%で、目標値95%との差は±0であった。 【朝食を毎日食べる児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査）】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>4年度</th><th>5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td><td>96.4%</td><td>95.0%</td></tr> <tr> <td>県平均</td><td>96.2%</td><td>94.9%</td></tr> </tbody> </table>				4年度	5年度	市	96.4%	95.0%	県平均	96.2%
	4年度	5年度									
市	96.4%	95.0%									
県平均	96.2%	94.9%									
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()										
	[具体的な課題及び取組] ① 栄養教諭による食育指導 ・栄養教諭による教科等と連携した栄養指導を行う。 ・保護者へのレシピ配付や給食試食会での栄養教諭の講話など、家庭で話題にできる講座の実施を推進していく。 ② 学校給食における地場産農産物の活用 ・地場産野菜等は、安定した量の確保の課題がある。引き続き、産地直売所、市内青果店と情報を共有しながら、積極的に活用するよう努めていく。 ・市内小中学校統一メニュー「天空の能代まんぷく給食」について、さらに周知を広げていきたい。マスコミへの情報提供を積極的に行い、テレビや新聞に取り上げてもらうことにより、家庭や地域へ学校給食の地場産物活用等についてPRしていく。 ③ 学校として取り入れる取組 ・学校だよりで「朝食を毎日食べる子どもの割合」の情報提供などを行うとともに、朝ごはんの大切さを呼び掛ける。										

基本目標

2 豊かな人間性を育む学校教育の推進

積極的に学校と地域が交流・連携し、感謝と思いやりにあふれた豊かな心と健やかな体、そして「自ら学び、考え、行動する力」をもった児童生徒の育成に取り組みます。

【施策の方向性】

① 主体的で創意ある教育活動の推進

児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするため、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。

② 心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進

いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について、未然防止や早期発見、即時対応等を適切に行うよう努めるとともに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム(*1)の構築を目指します。また、たくましく生きるための体を育成します。

③ 基礎学力の向上を図る学習指導

児童生徒の基礎学力の確実な定着を図るとともに、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的な深い学びの実現を目指します。

④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。

⑤ 安全・安心な学校教育の充実と環境の整備

児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校安全に関する指導を推進するとともに、学校施設の適切な維持管理や必要な支援員の配置、就学援助等の教育環境を整えます。

(*1)「インクルーシブ教育システム」：障害者が精神的及び身体的な能力を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とする目的のもと、障害のある方と障害のない方が共に学ぶ仕組み。

学識経験者の意見（基本目標 2）

大橋 純一 氏

基本目標には「豊かな心と健やかな体」ならびに「自ら学び、考え、行動する力」をもった児童生徒の育成が掲げられ、そのために「学校と地域が積極的に交流・連携」することが述べられています。また、その具体的な取り組みとして、①ふるさと・キャリア教育の推進、②生活指導上の諸課題に対する未然防止、早期発見、③基本的な学習習慣の確立、④教職員の識見を広げるための職務別研修、⑤学校安全（教育環境）の整備の5課題が挙げられています。まずは児童生徒の健やかな成長を促すための実践場ともいえるべき環境の整備に始まり、自身のアイデンティティやその拠り所ともなり得る“ふるさと”にフォーカスした教育の推進、教職員自身の研鑽の機会の創出等々、多方面にわたって、またそれぞれが密接に関わり合って、適切に基本計画が組まれていることがうかがえます。さらに個別の取り組みを見ますと、地域・一般住人を巻き込んだフェスティバルの開催、地域の関連事業に立脚しつつ、ふるさと・キャリア教育にも通じるとされるJAXAロケット実験場の見学や、モデルロケットの製作・打ち上げの試み、一方で、次代を見据えたICT・AIドリルの活用、それによる効果的な学習習慣の確立が志向されるなど、地域に拠って立つ側面と、来るDX時代に適応しようとする側面のいずれもが的を射て、それぞれに着実な実践のあったことがうかがえます。評価票にあるすべての事業・取り組みが「継続」となっていますので、5年度の実績と評価を踏まえ、さらにブラッシュアップしていただければと思います。

石川 智也 氏

「豊かな人間性を育む学校教育の推進」でも、全ての項目でほぼ目標どおりに達成され、自ら学び、考え、行動できる、豊かな心と体をもった児童生徒の育成が計画的に行われたことが理解できます。

ふるさと教育・キャリア教育では、以前より行われているものが、地域の実態や社会の変化に応じて、より効果的に改善されながら実践されて来たことがわかります。「きみまちカンパニー」「一中若、二中若」「宇宙に関する取組」等、特徴的な活動が行われました。そして、それを発表し合ったりする活動や、福祉、観光等ふるさとの未来を考えたりする「能代っ子ふるさと会議」はとても有意義な活動です。能代市の未来を支えるものとして継続的な取組を期待します。

学校運営協議会は、学校、地域や家庭の立場から、学校教育についての意見を交換する場として今後も有効に進めていってください。

自己実現を支える生徒指導では、特にいじめ・不登校問題に対して、相談機関を設けたり、協議会を開いたり、校内体制を整えたりと、積極的に対応してきて、子どものアンケートからそれらが有効に機能していることがわかります。今後も「いじめは絶対許さない」という学校風土づくりや、「安心して学べる学級・学校」づくりを目指していってください。さらに、デリケートな保護者対応や、関係機関との連携等のため、各校に教員退職者等の保護者対応経験豊富な人材配置も、考慮していく必要があると思います。特別支援教育に関して、支援員の配置やステップアップ教室の設置など、効果的な運用がなされています。

学習習慣の確立・学習指導・ICTの効果的な活用・AIドリルでの学びについては、学習

状況調査が、全国トップレベルの秋田県平均を全ての学年で上回っており、効果的な学習習慣の確立の元で、主体的な学びが展開され、学ぶ意欲も高く、確かな学力の定着が高いレベルでなされていることがわかります。A I ドリルは今後の有効な活用の仕方の定着に期待します。I C T機器の活用は、今後ますます重要視されてくることなので、全ての子どもが、学年に応じた活用ができるように計画的に進めていってほしいです。

学力向上・安心安全・豊かな学びについての研修に関しては、全ての研修において、その満足度が高く、有効な研修実践が展開されたことがわかります。特にこれからは、新採用教員に対しての研修が、高い指導力の継続の点からも必要とされます。各校において工夫した研修がなされることを期待します。

学校安全の推進については、各校の実態に応じた取組がなされています。これからは気候変動や害獣対策等も考慮して、登下校時の安全確保に努めてください。

就学援助・奨学金事業等に関しては、今後も必要としている家庭、個人に対して、情報提供を確実に進めていってください。

学校施設の老朽化対策は、計画的に確実に行われるようにしていってください。数年前からの暑さに対して、タイムリーなエアコン設置が行われました。今後も実態を配慮して、取り組んでください。

事業・取組	1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進 2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）活動の充実						2-①		
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。								
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9		
	「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の肯定的回答の割合 ※対象:小5 (実績値)=(県学習状況調査結果)	目標	90%以上						
		実績	92.8%						
実績及び成果	1 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 未来を創る能代っ子ふるさと会議と名称を一新し、市内全ての中学校2年生、小学校6年生が参加し、ふるさとをよりよくするための提言がなされた。防災や老人福祉、観光等の観点で議論を深めることができた。								
	2 特色ある教育計画の立案と実践・評価 学校・家庭・地域が相互に連携した教育活動の在り方を検証するため、「あきた型学校評価システム」による学校関係者評価を実施し、市内13校全ての小・中学校でその結果を校報やホームページ等で公表した。								
	○ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進								
	① ニツ井小学校、ニツ井中学校の取組例 模擬会社「きみまちカンパニー」を設立して3年目となる5年度は、4年度同様、企画、観光、福祉、農業、産業の5事業部で活動を進めた。11月3日の「きみまちカンパニーフェスティバル」は、商店街を歩行者天国にして開催。来場した一般住民も一緒に、新旧ニツ井音頭を踊ったり、スタンプラリーを行ったりした。これまでの学びの成果を事業部ごとにアピールした。								
	② 能代第一中学校、能代第二中学校の取組例 8月2日、3日、一中若、二中若が天空の不夜城に参加した。両校では、能代七夕の歴史と伝統を学ぶことを目的に、音頭上げや太鼓、笛、田楽などのコースに分かれて活動した。沿道の観客からも、盛んな拍手が送られ、大いに盛り上がった。								
点検・評価	③ 能代南中学校等の取組例 科学技術の進歩や宇宙開発をテーマに学習を進めている。各学年の計画に沿って、JAXAロケット実験場の見学、モデルロケット製作・打ち上げ等を行っている。中学生モデルロケット県大会では、2位の成績を収めた。 また、市内各校でサイエンスパーク子ども館を見学したり、プラネタリウム鑑賞をしたりして、宇宙に親しんでいる。								
	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る						
	[説明] ・「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の肯定的回答の割合（小学5年生）は92.8%で、目標値90%との差は+2.8ポイントであった。								

	【「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」肯定的回答の割合 (県学習状況調査)】																																																			
	<table><tr><th rowspan="2">学 年</th><th colspan="2">4 年度</th><th rowspan="2">比較</th><th colspan="2">5 年度</th><th rowspan="2">比較</th></tr><tr><th>能代市</th><th>県平均</th><th>能代市</th><th>県平均</th></tr><tr><td>小学 4 年</td><td>89.0%</td><td>91.0%</td><td>－2.0 p</td><td>87.9%</td><td>92.4%</td><td>－4.5 p</td></tr><tr><td>小学 5 年</td><td>95.0%</td><td>89.0%</td><td>＋6.0 p</td><td>92.8%</td><td>89.4%</td><td>＋3.4 p</td></tr><tr><td>小学 6 年</td><td>92.0%</td><td>89.0%</td><td>＋3.0 p</td><td>94.1%</td><td>88.9%</td><td>＋5.2 p</td></tr><tr><td>中学 1 年</td><td>88.0%</td><td>89.0%</td><td>－1.0 p</td><td>87.4%</td><td>85.7%</td><td>＋1.7 p</td></tr><tr><td>中学 2 年</td><td>90.0%</td><td>87.0%</td><td>＋3.0 p</td><td>88.4%</td><td>84.5%</td><td>＋3.9 p</td></tr></table>						学 年	4 年度		比較	5 年度		比較	能代市	県平均	能代市	県平均	小学 4 年	89.0%	91.0%	－2.0 p	87.9%	92.4%	－4.5 p	小学 5 年	95.0%	89.0%	＋6.0 p	92.8%	89.4%	＋3.4 p	小学 6 年	92.0%	89.0%	＋3.0 p	94.1%	88.9%	＋5.2 p	中学 1 年	88.0%	89.0%	－1.0 p	87.4%	85.7%	＋1.7 p	中学 2 年	90.0%	87.0%	＋3.0 p	88.4%	84.5%	＋3.9 p
学 年	4 年度		比較	5 年度		比較																																														
	能代市	県平均		能代市	県平均																																															
小学 4 年	89.0%	91.0%	－2.0 p	87.9%	92.4%	－4.5 p																																														
小学 5 年	95.0%	89.0%	＋6.0 p	92.8%	89.4%	＋3.4 p																																														
小学 6 年	92.0%	89.0%	＋3.0 p	94.1%	88.9%	＋5.2 p																																														
中学 1 年	88.0%	89.0%	－1.0 p	87.4%	85.7%	＋1.7 p																																														
中学 2 年	90.0%	87.0%	＋3.0 p	88.4%	84.5%	＋3.9 p																																														
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] 今後も特色ある教育活動が各校で展開されるよう支援していく。																																																			

事業・取組	自己実現を支える生徒指導						2-②	
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について、未然防止や早期発見、即時対応等を適切に行うよう努めるとともに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指します。また、たくましく生きるための体を育成します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	「学校が楽しい」の肯定的回答の割合と学年目標 90%との差の計 ※対象:小4～中2 (実績値)=(((県学習状況調査結果)-(学年目標基準))の計) ※各学年目標基準:90%	目標	0 ポイント以上					
		実績	3.9 p					
	不登校・不登校傾向児童生徒の回復率 (実績値)=(回復した児童生徒数)/(不登校児童生徒数)×100	目標	20%以上					
		実績	19.5%					
	新体力テスト体力合計点平均が県平均を上回る学年(男女別)の割合 (実績値)=((県平均を上回る学年(男女別)の数)/(2×9 学年))×100	目標	50%以上					
実績		55.5%						
実績及び成果	1 心の教室相談員の配置 ・小・中学校全ての学校に13名配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数(延べ人数) 15,141人、相談件数349件 2 スクールカウンセラーの配置(県委託) ・中学校:6校中6校に3人(兼務あり)配置 ・1年間でスクールカウンセラーを利用した人数(延べ人数) 368人 3 教育支援センター「はまなす広場」の設置(不登校児童生徒への個別指導) ・在籍児童生徒数14人 週に1回～数回の通級等 ・登校に向けて風の子電話との連携を強化 4 「風の子相談」の設置(電話・メールや来所による教育相談) ・年間相談件数 電話55件、来所56件(不登校91件、学習関係21件) 5 不登校保護者会の開催(不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動) ・12回開催、保護者延べ13人参加。生徒の改善(回復傾向)へ関わる。 6 各小・中学校への指導 ・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼びかけ ・Q-Uアンケート(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施と分析。小学校5・6年、中学校1・2年で年2回実施。中学校1年はよりきめ細かな分析ができるhyper-QUを実施。 7 関係機関との連携 ・月に1回、教育委員会生徒指導担当、児童生徒支援アドバイザー、子育て支援課家庭教育相談員で情報交換会を開催。学校だけでは解決できない生徒指導事案について、関係機関と連携したことにより解決事案が増えてきている。 8 特別支援教育の充実							

	・ 幼保小の架け橋となる幼児通級教室「すてっぷ」（年長児対象）を湊城西小学校、向能代小学校、二ツ井小学校に設置 ・ 小学校低学年の自立を助ける特別支援教室「ステップアップ」を上記3校に設置 ・ 特別支援教育支援員を31人、特別支援教育指導員を10人配置 9 新体力テストの実施と分析を行い、市教委訪問で各校の課題を確認し、助言した。																																																																																																																																								
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																																																																																																						
	[説明] ・ 「学校が楽しい」の肯定的回答の割合と学年目標90%との差の計は3.9ポイントで、目標値0ポイントとの差は+3.9ポイントであった。1 県学習状況調査の質問紙において、「学校が楽しい」の項目でほとんどの学年が90パーセントに近い数値であった。小学5年、小学6年、中学1年で目標値を上回った。 【「学校が楽しい」 肯定的回答の割合（県学習状況調査／5年度）】 <table><tr><th>学 年</th><th>能代市</th><th>目標値との比較</th><th>県平均</th><th>県との比較</th></tr><tr><td>小学4年</td><td>88.2%</td><td>－1.8 p</td><td>92.2%</td><td>－4.0 p</td></tr><tr><td>小学5年</td><td>92.5%</td><td>＋2.5 p</td><td>91.8%</td><td>＋0.7 p</td></tr><tr><td>小学6年</td><td>93.0%</td><td>＋3.0 p</td><td>92.2%</td><td>＋0.8 p</td></tr><tr><td>中学1年</td><td>90.4%</td><td>＋0.4 p</td><td>91.3%</td><td>－0.9 p</td></tr><tr><td>中学2年</td><td>89.8%</td><td>－0.2 p</td><td>90.2%</td><td>－0.4 p</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>＋3.9 p</td><td></td><td></td></tr></table> ・ 不登校・不登校傾向児童生徒の回復率は 19.5%で、目標値 20%との差は△0.5ポイントであった。 ・ 新体力テストにおける体力合計点の平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合は 55.5%で、目標値 50%との差は＋5.5 ポイントであった。 (10÷ (9 学年×2)) ×100) ÷ 55.5% 【体力合計点平均（新体力テスト／5年度）】 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">小1</th><th colspan="2">小2</th><th colspan="2">小3</th><th colspan="2">小4</th><th colspan="2">小5</th><th colspan="2">小6</th></tr><tr><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th></tr><tr><td>秋田県</td><td>32.18</td><td>32.25</td><td>38.61</td><td>39.62</td><td>44.56</td><td>46.3</td><td>49.85</td><td>51.86</td><td>55.75</td><td>58.3</td><td>61.99</td><td>62.51</td></tr><tr><td>能代市</td><td>33.46</td><td>33.7</td><td>38.67</td><td>39.35</td><td>46.09</td><td>47.23</td><td>49.7</td><td>54.18</td><td>56.78</td><td>59.7</td><td>61.51</td><td>61.94</td></tr><tr><td>比較</td><td>1.28</td><td>1.45</td><td>0.06</td><td>-0.27</td><td>1.53</td><td>0.93</td><td>-0.15</td><td>2.32</td><td>1.03</td><td>1.4</td><td>-0.48</td><td>-0.57</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">中1</th><th colspan="2">中2</th><th colspan="2">中3</th></tr><tr><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th></tr><tr><td>秋田県</td><td>35.76</td><td>45.23</td><td>44.03</td><td>49.83</td><td>51.16</td><td>52.43</td></tr><tr><td>能代市</td><td>33.44</td><td>44</td><td>43.81</td><td>50.56</td><td>50.13</td><td>56.75</td></tr><tr><td>比較</td><td>-2.32</td><td>-1.23</td><td>-0.22</td><td>0.73</td><td>-1.03</td><td>4.32</td></tr></table>					学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較	小学4年	88.2%	－1.8 p	92.2%	－4.0 p	小学5年	92.5%	＋2.5 p	91.8%	＋0.7 p	小学6年	93.0%	＋3.0 p	92.2%	＋0.8 p	中学1年	90.4%	＋0.4 p	91.3%	－0.9 p	中学2年	89.8%	－0.2 p	90.2%	－0.4 p	計		＋3.9 p				小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	32.18	32.25	38.61	39.62	44.56	46.3	49.85	51.86	55.75	58.3	61.99	62.51	能代市	33.46	33.7	38.67	39.35	46.09	47.23	49.7	54.18	56.78	59.7	61.51	61.94	比較	1.28	1.45	0.06	-0.27	1.53	0.93	-0.15	2.32	1.03	1.4	-0.48	-0.57		中1		中2		中3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	35.76	45.23	44.03	49.83	51.16	52.43	能代市	33.44	44	43.81	50.56	50.13	56.75	比較	-2.32	-1.23	-0.22	0.73	-1.03
学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較																																																																																																																																					
小学4年	88.2%	－1.8 p	92.2%	－4.0 p																																																																																																																																					
小学5年	92.5%	＋2.5 p	91.8%	＋0.7 p																																																																																																																																					
小学6年	93.0%	＋3.0 p	92.2%	＋0.8 p																																																																																																																																					
中学1年	90.4%	＋0.4 p	91.3%	－0.9 p																																																																																																																																					
中学2年	89.8%	－0.2 p	90.2%	－0.4 p																																																																																																																																					
計		＋3.9 p																																																																																																																																							
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																																																																														
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																																													
秋田県	32.18	32.25	38.61	39.62	44.56	46.3	49.85	51.86	55.75	58.3	61.99	62.51																																																																																																																													
能代市	33.46	33.7	38.67	39.35	46.09	47.23	49.7	54.18	56.78	59.7	61.51	61.94																																																																																																																													
比較	1.28	1.45	0.06	-0.27	1.53	0.93	-0.15	2.32	1.03	1.4	-0.48	-0.57																																																																																																																													
	中1		中2		中3																																																																																																																																				
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																																																			
秋田県	35.76	45.23	44.03	49.83	51.16	52.43																																																																																																																																			
能代市	33.44	44	43.81	50.56	50.13	56.75																																																																																																																																			
比較	-2.32	-1.23	-0.22	0.73	-1.03	4.32																																																																																																																																			

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] ・「いじめ問題対策連絡協議会」を開催して本市のいじめ問題の現状を把握し学校・家庭・地域その他関係者が連携を図って対応する。また自己有用感を高め、すべての児童生徒の安全・安心な学校生活へ向けて、各校のいじめ防止基本方針の学校・家庭・地域での共有を推進し、「いじめは絶対に許さない。」という学校風土をつくる。 ・不登校・不登校傾向の児童生徒の回復に向けて、各校で校内体制を整え、関係機関とも積極的な連携が図られるようにする。また、新たな不登校児童生徒を出さないように、気になる児童生徒への即時対応、チーム対応を推進する。 ・不登校児童生徒が、学校以外でも学習や体験活動の機会を得られるように支援していく。 ・各校において新体力テストの結果を分析し、体育の授業や外遊びの奨励、部活動等により、高めたい運動特性につながる運動を積極的に取り入れるよう指導する。

事業・取組	1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 ねらいに即したICTの効果的な活用 4 AIDリルを活用した学びの個別最適化						2-③	
方針・目標	児童生徒の基礎学力の確実な定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	1 基本的な学習習慣の確立 教科に関する調査（県学習状況調査）の学年別結果の県平均を上回る教科の割合 (実績値)=((県平均を上回る教科の数)/(対象学年の教科の総数))×100	目標	80%以上					
		実績	100%					
	2 子どもが主体的に取り組める学習指導 「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」の肯定的回答の割合 (実績値)=(県学習状況調査結果)	目標	90%以上					
		実績	91.7%					
	3 ねらいに即したICTの効果的な活用 学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用する回数が、週1回以上の割合 (実績値)=(県学習状況調査結果)	目標	90%以上					
		実績	89.5%					
	4 AIDリルを活用した学びの個別最適化 長期休業期間にICT端末を持ち帰り、AIDリルを利用した児童生徒数の割合 ※R6～	目標		40%以上	80%以上	100%		
		実績						
	4 AIDリルを活用した学びの個別最適化 児童生徒のAIDリルへの満足度（5段階） ※R6～	目標		3.0以上	3.5以上	3.8以上	4.0以上	
		実績						
実績及び成果	1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、学校訪問等での情報交換及び指導助言等を実施した。 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 ① 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の促進を図った。							

	・タブレット端末等のＩＣＴを活用した授業を推進した。 ② 研修機会（初任者研修、講師等研修会、算数・数学学力向上研修会、研究主任会、ＩＣＴ推進リーダー研修会等）の提供と各校の情報共有を行った。 ・能代市山本郡の初任者、講師を対象に、初任者研修、講師等研修会を開催し、「秋田の探究型授業」のポイント等について指導助言した。 ・小・中学校の理科担当者を対象に「理科学力向上研修会」を開催し、理科の学力向上やタブレット端末を活用した授業づくりについて、北教育事務所山本出張所指導主事の講義・演習後、情報交換を行った。 3 ねらいに即したＩＣＴの効果的な活用 ・ＩＣＴ推進リーダー研修会等で各校の実践について情報交換を行った。 ・ＩＣＴを活用した授業改善事業に伴う授業公開を行い、授業後の研究会では、効果的な活用について各校の現状を踏まえた話し合いをした。 4 A I ドリルを活用した学びの個別最適化 ・A I ドリルの活用の促進のため、市のＩＣＴ推進リーダー研修会では、各校の活用状況を確認するとともに、外部から講師を招いて、活用に関する情報提供を行った。 ・能代市教育委員会学校訪問から見えた各校の授業改善の取組について、ＩＣＴの活用事例を取り上げながら、教育情報誌「ふいご」等を通じて紹介した。 ・秋田の探究型授業や能代市の授業づくりの重点とＩＣＴの効果的な活用について、各研修会で取り上げ、授業改善のきっかけの場とした。 ・ＩＣＴ推進リーダー研修会ではA I ドリルの活用について各校の実践事例を共有し、個別最適な学びの実現につながるよう、具体的な活用方法について研修を行った。																																																													
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																											
	[説明] 1 基本的な学習習慣の確立 ・県学習状況調査の学年別結果の県平均を上回る教科の割合は 100%で、目標値 80%との差は+20.0 ポイントであった。 ・学校がある日の勉強時間（１時間以上勉強している児童生徒の割合）は、小学 6 年～中学 2 年で県平均を上回った。 【教科に関する調査（県学習状況調査／５年度）】 <table> <tr> <th>小学 4 年</th><th>能代市</th><th>県平均</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>国語</td><td>75.6%</td><td>74.3%</td><td>+1.3 p</td></tr> <tr> <td>社会</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>算数</td><td>69.8%</td><td>67.5%</td><td>+2.3 p</td></tr> <tr> <td>理科</td><td>81.4%</td><td>78.5%</td><td>+2.9 p</td></tr> </table> <table> <tr> <th>小学 5 年</th><th>能代市</th><th>県平均</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>国語</td><td>65.2%</td><td>63.7%</td><td>+1.5 p</td></tr> <tr> <td>社会</td><td>80.3%</td><td>74.0%</td><td>+6.3 p</td></tr> <tr> <td>算数</td><td>73.7%</td><td>70.8%</td><td>+2.9 p</td></tr> <tr> <td>理科</td><td>72.1%</td><td>68.8%</td><td>+3.3 p</td></tr> </table> <table> <tr> <th>小学 6 年</th><th>能代市</th><th>県平均</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>国語</td><td>80.6%</td><td>74.9%</td><td>+5.7 p</td></tr> <tr> <td>社会</td><td>79.6%</td><td>73.6%</td><td>+6.0 p</td></tr> <tr> <td>算数</td><td>73.8%</td><td>68.7%</td><td>+5.1 p</td></tr> <tr> <td>理科</td><td>86.5%</td><td>83.8%</td><td>+2.7 p</td></tr> </table>			小学 4 年	能代市	県平均	比較	国語	75.6%	74.3%	+1.3 p	社会				算数	69.8%	67.5%	+2.3 p	理科	81.4%	78.5%	+2.9 p	小学 5 年	能代市	県平均	比較	国語	65.2%	63.7%	+1.5 p	社会	80.3%	74.0%	+6.3 p	算数	73.7%	70.8%	+2.9 p	理科	72.1%	68.8%	+3.3 p	小学 6 年	能代市	県平均	比較	国語	80.6%	74.9%	+5.7 p	社会	79.6%	73.6%	+6.0 p	算数	73.8%	68.7%	+5.1 p	理科	86.5%	83.8%
小学 4 年	能代市	県平均	比較																																																											
国語	75.6%	74.3%	+1.3 p																																																											
社会																																																														
算数	69.8%	67.5%	+2.3 p																																																											
理科	81.4%	78.5%	+2.9 p																																																											
小学 5 年	能代市	県平均	比較																																																											
国語	65.2%	63.7%	+1.5 p																																																											
社会	80.3%	74.0%	+6.3 p																																																											
算数	73.7%	70.8%	+2.9 p																																																											
理科	72.1%	68.8%	+3.3 p																																																											
小学 6 年	能代市	県平均	比較																																																											
国語	80.6%	74.9%	+5.7 p																																																											
社会	79.6%	73.6%	+6.0 p																																																											
算数	73.8%	68.7%	+5.1 p																																																											
理科	86.5%	83.8%	+2.7 p																																																											

中学 1 年	能代市	県平均	比較
国語	78.1%	76.3%	+1.8 p
社会	70.5%	66.5%	+4.0 p
数学	63.7%	61.5%	+2.2 p
理科	67.6%	66.1%	+1.5 p
英語	64.8%	62.4%	+2.4 p

中学 2 年	能代市	県平均	比較
国語	75.2%	70.3%	+4.9 p
社会	63.6%	60.7%	+2.9 p
数学	62.6%	61.3%	+1.3 p
理科	66.6%	61.4%	+5.2 p
英語	53.6%	51.4%	+2.2 p

【家庭学習について、学校がある日の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合
(県学習状況調査)】

学 年	4 年度		県との 比較	5 年度		県との 比較
	能代市	県平均		能代市	県平均	
小学4年	32.8%	34.3%	－ 1.5 p	35.7%	32.6%	＋ 3.1 p
小学5年	45.2%	46.6%	－ 1.4 p	43.4%	48.3%	－ 4.9 p
小学6年	67.4%	55.7%	+11.7 p	59.8%	51.3%	＋ 8.5 p
中学1年	69.7%	66.1%	＋ 3.6 p	62.9%	60.6%	＋ 2.3 p
中学2年	61.1%	60.2%	＋ 0.9 p	49.1%	57.3%	－ 8.2 p

2 子どもが主体的に取り組める学習指導

・「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」の肯定的回答の割合は91.7%で、目標値90%との差は+1.7ポイントであった。

【「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」肯定的回答の割合（県学習状況調査／5年度）】

学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較
小学4年	84.1%	－ 5.9 p	91.7%	－ 7.6 p
小学5年	92.5%	＋ 2.5 p	91.5%	＋ 1.0 p
小学6年	95.3%	＋ 5.3 p	90.9%	＋ 4.4 p
中学1年	93.0%	＋ 3.0 p	92.1%	＋ 0.9 p
中学2年	93.5%	＋ 3.5 p	92.4%	＋ 1.1 p
全体	91.7%			

【「勉強が好きだ」肯定的回答の割合（県学習状況調査）】

学 年	4 年度		県との 比較	5 年度		県との 比較
	能代市	県平均		能代市	県平均	
小学4年	73.5%	77.1%	－ 3.6 p	77.6%	78.5%	－ 0.9 p
小学5年	79.2%	70.4%	＋ 8.8 p	76.0%	70.6%	＋ 5.4 p
小学6年	74.0%	69.0%	＋ 5.0 p	74.8%	67.1%	＋ 7.7 p
中学1年	65.3%	56.0%	＋ 9.3 p	54.3%	52.8%	＋ 1.5 p
中学2年	54.3%	46.7%	－ 7.6 p	58.1%	46.7%	－11.4 p

	3 ねらいに即した I C T の効果的な活用 ・学校で、コンピュータなどの I C T 機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用する回数が、週 1 回以上の割合は 89.5% で、目標値 90% との差は△0.5 ポイントであった。 【「あなたは、学校で、コンピュータなどの I C T 機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使用していますか」の設問に「ほぼ毎日」「週 1 回以上」と回答した割合（県学習状況調査／5 年度）】 <table border="1" data-bbox="454 488 1195 828"> <thead> <tr> <th>学 年</th> <th>能代市</th> <th>目標値との比較</th> <th>県平均</th> <th>県との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学 4 年</td> <td>83.9%</td> <td>－ 6.1 p</td> <td>74.2%</td> <td>＋ 9.7 p</td> </tr> <tr> <td>小学 5 年</td> <td>89.6%</td> <td>－ 0.7 p</td> <td>74.0%</td> <td>＋15.6 p</td> </tr> <tr> <td>小学 6 年</td> <td>89.4%</td> <td>－ 0.6 p</td> <td>82.4%</td> <td>＋ 7.0 p</td> </tr> <tr> <td>中学 1 年</td> <td>92.4%</td> <td>＋ 2.4 p</td> <td>68.8%</td> <td>＋23.6 p</td> </tr> <tr> <td>中学 2 年</td> <td>92.1%</td> <td>＋ 2.1 p</td> <td>78.0%</td> <td>＋14.1 p</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>89.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較	小学 4 年	83.9%	－ 6.1 p	74.2%	＋ 9.7 p	小学 5 年	89.6%	－ 0.7 p	74.0%	＋15.6 p	小学 6 年	89.4%	－ 0.6 p	82.4%	＋ 7.0 p	中学 1 年	92.4%	＋ 2.4 p	68.8%	＋23.6 p	中学 2 年	92.1%	＋ 2.1 p	78.0%	＋14.1 p	全 体	89.5%			
学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較																																
小学 4 年	83.9%	－ 6.1 p	74.2%	＋ 9.7 p																																
小学 5 年	89.6%	－ 0.7 p	74.0%	＋15.6 p																																
小学 6 年	89.4%	－ 0.6 p	82.4%	＋ 7.0 p																																
中学 1 年	92.4%	＋ 2.4 p	68.8%	＋23.6 p																																
中学 2 年	92.1%	＋ 2.1 p	78.0%	＋14.1 p																																
全 体	89.5%																																			
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・ A I ドリルの活用を含む基本的な学習習慣の確立については、小・中連携による継続的、系統的な学び方指導、家庭への啓発等を引き続き各学校に指導する。 ・新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を目指し、各種研修会や広報等で広く周知する。																																			

事業・取組	1 学力向上のための研修 2 安全・安心な学校づくりのための研修 3 学びをより豊かにするための研修						2－④	
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	各研修会参加者の満足度 (実績値)=(利用者満足度調査(4段階※)換算点の平均値)	目標	3.6 以上					
	※実際に役立つ内容であったか「そう思う」4点～「思わない」1点	実績	3.8					
実績及び成果	① 職務別研修を実施した。 ・教務主任・研究主任協議会（4月） カリキュラム・マネジメントの推進についての講話・協議、情報交換 ・特別支援教育学級担任等研修会（7月） 能代市教育委員会特別支援教育統括コーディネーターの講話「個別の配慮を要する子どもの理解と対応」、情報交換 ② 教職経験者研修を実施した。 ・初任者研修（5・8月） 1回目：教育懇談（教育長講話、課長・指導主事による講義等） 2回目：郷土研修（能代市の産業、自然、文化、施設） ・講師等研修（5月） ③ テーマ別研修を実施した。 ・読書活動推進研修会（5月） ・幼保小連携推進協議会（5月、11月、2月） ・外国語研修会（8月） ・理科学力向上研修会（9月） ④ 東京都豊島区との教育連携によるオンラインでの教員、児童生徒交流を実施した。 ・淳城西小と椎名町小、淳城南小と朋有小、第四小と千早小、第五小とさくら小、向能代小と目白小、浅内小と清和小、二ツ井小と豊成小 ・二ツ井中と明豊中 ＊中止した研修会 ・東京都豊島区との教育連携を生かした教員交流研修（6・11月） ・各種研修会では、参加者同士が対話しながら主体的に参加できるよう、研修内容を工夫することができた。 ・新学習指導要領や能代市の教育方針及び学校の課題等について、各校の日常の取組に生かすことができるよう、専門的な分野に秀でた指導主事やアドバイザー等を講師として招聘した。 ・アンケート等を基にしながら、参加者のニーズを踏まえた研修会の計画に努め、研修会の冒頭で、会のねらい等を押さえた上で研修会を開催し、研修内容の充実を図った。							

点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る C 目標をやや下回る	B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る																																
	[説明] ・各種研修会の事後アンケートにおいて、「実際に役立つ内容であったか」の設問に対する4段階回答の換算点(※)全体平均値は3.8点で、目標値3.6点との差は+0.2点であった。 (※)段階回答換算 最高点「そう思う」4点 最低点「思わない」1点 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教員に直接関わる各種研修</th> <th>評価平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>教務主任・研究主任協議会</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>特別支援教育学級担任等研修会</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>初任者研修</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>講師等研修</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>読書活動推進研修会</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>幼保小連携推進協議会</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>外国語活動・外国語研修会</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>理科学力向上研修会</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>I C T推進リーダー研修会</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全体平均</td> <td>3.8</td> </tr> </tbody> </table>					教員に直接関わる各種研修	評価平均	1	教務主任・研究主任協議会	3.7	2	特別支援教育学級担任等研修会	3.9	3	初任者研修	3.9	4	講師等研修	4.0	5	読書活動推進研修会	3.7	6	幼保小連携推進協議会	3.8	7	外国語活動・外国語研修会	3.9	8	理科学力向上研修会	3.8	9	I C T推進リーダー研修会	3.8		全体平均
	教員に直接関わる各種研修	評価平均																																		
1	教務主任・研究主任協議会	3.7																																		
2	特別支援教育学級担任等研修会	3.9																																		
3	初任者研修	3.9																																		
4	講師等研修	4.0																																		
5	読書活動推進研修会	3.7																																		
6	幼保小連携推進協議会	3.8																																		
7	外国語活動・外国語研修会	3.9																																		
8	理科学力向上研修会	3.8																																		
9	I C T推進リーダー研修会	3.8																																		
	全体平均	3.8																																		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()																																			
[具体的な課題及び取組] ① ミドルリーダーを育成する研修の充実を図る。 ・豊島区との教育交流事業の充実によるミドルリーダーの実践的指導力の向上へ向け、5年度の全小学校及び中学校1校による豊島区の学校とのフレンドスクール交流を、6年度以降は全小学校及び・中学校4校へ拡大する。また、教員同士が互いに訪問して研修を深める交流を再開する。 ・教務主任・研究主任協議会の充実 6年度は、文科委託事業「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」実践校の実践によってまとめられた「カリキュラム・マネジメントの手引き」の活用を推進しながら、ミドルリーダーの学校経営への参画意識と力量の向上を図る。 ② 教科等の実践的指導力向上に関する研修の充実を図る。 ・研究授業後の研究会のコーディネートや指導助言等により、各校の組織的な研修会の充実を図る。 ・タブレットをはじめとしたI C T機器を効果的に活用した授業づくりの充実を図る。 ・理科学力向上研修会や外国語研修会等において、「I C Tの効果的活用」「秋田の探究型授業の在り方」「指導方法の工夫」等について協議、情報交換を行い、研修会参加者が自校において研修内容を還元し、授業改善が市内全小・中学校において一層推進されるようにする。 ③ 生徒指導の機能を指導に生かすための研修の充実を図る。 ・各校の現状と課題を分析し、学校全体の指導力向上を図るため、市教育委員会指導主事と児童生徒支援アドバイザーによる全小・中学校訪問を実施する。 ・各小・中学校に配置している心の教室相談員を対象とした研修会を実施する。																																				

	④ 特別支援教育の充実を図る。 ・ 特別支援教育学級担任等研修会の開催等、学校のニーズに応じ、教育力を高めるための研修会を実施する。 ・ 特別教育支援指導員・支援員を対象に、支援等の在り方や工夫に関する情報共有の場を設定する。 ⑤ 幼保小連携を推進する。 ・ 学校及び幼保園・所が互いに子どもの育ちを理解し合い、互いの連携を深めるため、年3回（小学校1年生担任や年長児担任、管理職対象）の連携推進協議会を開催する。 ・ 年間の交流計画を作成し、育てたい資質・能力を共有しながら積極的な交流活動を行う。また、幼保小の架け橋期である就学前の5歳児からと小学校1年生の2年間におけるカリキュラムの開発を進める。 ・ 能代市初任研Ⅰに、幼稚園・保育園・認定こども園の1～3年目の保育教諭及び保育士が参加する。 今後も各学校において能代市が目指す教育の方向性への理解が深まり、教員一人一人の力量向上が図られるよう、各学校における教育課題等の実情に応じた実践的な研修を企画、実施していく。また、研修内容を教育情報誌「ふいご」や教育研究所報「つなぐ」で周知し、教職員の資質・能力の向上を図る。
--	---

事業・取組	学校安全の推進						2-⑤																											
方針・目標	児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校安全に関する指導を推進するとともに、学校施設の適切な維持管理や必要な支援員の配置、就学援助等の教育環境を整えます。																																	
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																											
	各校からの点検・要望箇所の対策実施率	目標	90%以上																															
	(実績値)=((対策済件数)/(点検・改善要望数))×100	実績	93.8%																															
実績及び成果	学校安全の推進 ① 教育活動における安全指導 ・学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。 ・市生徒指導協議会で各校の生徒指導主事に事故発生状況を伝えるとともに、安全に関する指導助言を行った。 ・事故発生後の各校からの速やかな報告が徹底されてきている。 <table><tr><td></td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度</td><td>8年度</td><td>9年度</td></tr><tr><td>登下校時の事故</td><td>9件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>校内における事故</td><td>25件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ② 各学校の実態に応じた安全点検等の実施 ・関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童の安全面を考慮した改善を進めることができた。毎年、点検・改善が進められていることから、登下校における危険箇所が減少し、児童生徒の不注意以外が原因となる事故は減少している。 ・交通安全協会に協力していただき、2校で中学1年を対象とした交通安全教室を開催した。 ③ 地域連携安全・安心推進事業 ・事業拠点校の中核職員が、2月に行われた学校防災教育研修会において、自校の取組と成果、課題等について発表した。 ・事業実施後に行ったアンケートの「避難場所を家族と確認していますか。」という設問に対して、肯定的回答が実施前よりやや増加した。防災への意識が高まってきている。 【5年度地域連携安全・安心推進事業アンケート結果】 ◎設問 避難場所を家族と確認していますか。 <table><tr><td></td><td>7月</td><td>12月</td><td>比較</td></tr><tr><td>市内小・中学生</td><td>50.8%</td><td>52.4%</td><td>+1.6p</td></tr></table> ④ 学校給食における食の安全の取組 ・食育デー（毎月19日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。 ・食物アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。（43人） ・危険な異物等が給食に入り込まないように、衛生管理面の徹底に努めた。 学校給食における危険な異物等の混入：0件 食物アレルギーによるアナフィラキシーの発生件数：0件 ⑤ 心のケアの充実 ・【再掲】特別支援教育支援員を31人、特別支援教育指導員を10人配置 ・心の教室相談員を小学校全校（7校）、中学校全校（6校）、計13校に配置									5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	登下校時の事故	9件					校内における事故	25件						7月	12月	比較	市内小・中学生	50.8%	52.4%	+1.6p
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度																													
登下校時の事故	9件																																	
校内における事故	25件																																	
	7月	12月	比較																															
市内小・中学生	50.8%	52.4%	+1.6p																															

点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	・各校からの点検・要望箇所の対策実施率は 93.8%で、目標値 90%との差は+3.8 ポイントであった。 【5年度通学路安全点検】 各校からの点検・改善要望：16 件 (内訳) 対策済み：15 件 対策検討：1 件 対策実施率 $(15 \div 16) \times 100 \approx 93.8\%$		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()		
	[具体的な課題及び取組] ・学校、地域、保護者、関係機関との連携を密にし、多くの目で児童生徒を見守る体制づくりを推進し、事故防止に努めていく。 ・地域連携安全・安心推進事業の拠点校である浅内小学校と能代南中学校を中心に、市内各校が地域や関係機関と連携した防災教育の充実を図っていけるよう指導、支援する。また、学校防災教育研修会を実施し、各中学校エリアにおける小・中学校9年間を見据えた学校安全教育の推進を図っていく。		

事業・取組	就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進						2－⑤																						
方針・目標	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくります。																												
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																						
	制度周知実施の対象範囲 (実績値)=(評価基準と実施した周知対象範囲との比較) ※(評価基準)=(R4 年度に実施した周知対象範囲)	目標値	評価基準以上																										
		実績	維持																										
実績及び成果	広報のしろや市ホームページで周知しているほか、奨学金にあつては市内の中学校や県内の高等学校、大学、短期大学等に周知依頼をし、就学援助にあつては市内小・中学校に周知依頼することで周知徹底を図っており、見込み程度の利用人数となっている。 1 就学援助 庁内の関係窓口に案内文書や申請書を備え付けているほか、新入学児童生徒には保護者へ案内文書の直接送付、在校児童生徒には学校を通して制度案内と申請書を配布している。結果、認定割合は 25%前後と県内でも高い水準となっている。 (6 年 3 月末現在) 要保護 39 人、準要保護 589 人、認定割合は 24.0% (4 年度 24.9%) 県内でも高い水準となっている。 2 能代市奨学金貸付事業 奨学生募集の際は、市内中・高等学校、県内専門学校・大学、庁内関係課のほか、山本郡の 3 町に周知している。8 月から募集を開始し、定員に満たない分について随時追加募集を行ったことから、AO 入学等様々な時期に対応でき、採用者が定員を満たした。 定員：高校 5 人、大学等 20 人 採用者数 (辞退者数除く) <table><tr><td></td><td>4 年度</td><td>5 年度</td></tr><tr><td>高校</td><td>0 人</td><td>3 人</td></tr><tr><td>大学等</td><td>17 人</td><td>21 人</td></tr><tr><td>計</td><td>17 人</td><td>24 人</td></tr></table> 3 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 定員に満たない分について随時追加募集を行い応募の機会を増やしたが、3 町の採用者数が定員を満たさなかった。 定員：大学等 30 人 (能代市 19 人、三種町 6 人、八峰町 3 人、藤里町 2 人) 採用者数 (辞退者数除く) <table><tr><td></td><td>4 年度</td><td>5 年度</td></tr><tr><td>能代市</td><td>21 人</td><td>20 人</td></tr><tr><td>その他</td><td>8 人</td><td>1 人</td></tr></table>									4 年度	5 年度	高校	0 人	3 人	大学等	17 人	21 人	計	17 人	24 人		4 年度	5 年度	能代市	21 人	20 人	その他	8 人	1 人
	4 年度	5 年度																											
高校	0 人	3 人																											
大学等	17 人	21 人																											
計	17 人	24 人																											
	4 年度	5 年度																											
能代市	21 人	20 人																											
その他	8 人	1 人																											

	<table><tr><td>計</td><td>29 人</td><td>21 人</td></tr></table>			計	29 人	21 人
計	29 人	21 人				
	4 奨学金返還助成事業 県の返還助成を終了した方に対し、制度概要のチラシを送付するなど、関係機関と連携し周知を図っていることから、助成対象者が増加している。 助成者数：5年度 47 人（4年度 48 人）					
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る			
	[説明] ・制度周知実施の対象範囲は、4年度に実施した周知対象範囲を維持した。					
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）					
	[具体的な課題及び取組] 一定程度の利用申し込みがある状況であり、さらなる周知方法の拡大等について検討しながら今後も継続して周知徹底に努める。奨学金貸付事業については、申請要件の見直しを行うなど、より、公平でわかりやすいしくみを検討しながら、引き続き利用促進に向けて取り組む。					

事業・取組	学校施設の老朽化対策等の推進							2－⑤																																																																																																																																								
方針・目標	児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校施設の適切な維持管理を実施します。																																																																																																																																															
目標指標	指標					R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																																						
	大規模改修工事完了校数(累計) ※「教育施設等長寿命化計画」 R20年度までに13校 (実績値)=(大規模改修工事を完了した学校数の累計) 〔指数〕				目標	4.25	5.75	6	7	7.25																																																																																																																																						
	校舎		体育館	計	実績値	4.25																																																																																																																																										
	I期	II期																																																																																																																																														
	0.25	0.25	0.50	1.0																																																																																																																																												
実績及び成果	1 学校施設の老朽化対策等の推進 ① 長寿命化計画に基づく事業実施 ○ 淳城西小学校大規模改修工事Ⅱ期 ※Ⅰ期：令和4年度実施 ○ 二ツ井中学校大規模改修工事Ⅱ期 ※Ⅰ期：令和4年度実施 ○ 第五小学校大規模改修工事Ⅰ期(屋上防水、外壁、教室・廊下の床改修等) ・ 国交付金の追加配分に機を逃さず要望し予算措置した。※6年度工事 第五小学校大規模改修工事Ⅱ期、能代第二中学校(校舎)大規模改修工事Ⅰ期工事、及び能代東中学校(体育館)大規模改修工事の前倒し予算措置 ＜大規模改修工事＞ <table><tr><td></td><td colspan="2">R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>計</td><td>R10～</td></tr><tr><td>淳城西小</td><td>校舎Ⅱ</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>第五小</td><td>校舎Ⅰ</td><td>0.25</td><td>校舎Ⅱ 体育館</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>第四小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>浅内小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>二ツ井小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>二ツ井中</td><td>校舎Ⅱ 体育館</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>能代二中</td><td></td><td></td><td>校舎Ⅰ</td><td>校舎Ⅱ</td><td>体育館</td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>能代東中</td><td></td><td></td><td>体育館</td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>東雲中</td><td></td><td></td><td></td><td>(トイレ)</td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>能代一中</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>体育館</td><td></td><td>0.5</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>能代南中</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>校舎Ⅰ</td><td>0.25</td><td>校舎Ⅱ 体育館</td></tr><tr><td>向能代小</td><td>実施済</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>淳城南小</td><td>実施済</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>4.25</td><td>5.75</td><td>6.0</td><td>7.0</td><td></td><td>7.25</td><td></td></tr></table> ※向能代小は元、2年度、淳城南小は2、3年度に実施済み										R5		R6	R7	R8	R9	計	R10～	淳城西小	校舎Ⅱ	1.0					1.0		第五小	校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ 体育館				1.0		第四小							0.0	校舎Ⅰ	浅内小							0.0	校舎Ⅰ	二ツ井小							0.0	校舎Ⅰ	二ツ井中	校舎Ⅱ 体育館	1.0					1.0		能代二中			校舎Ⅰ	校舎Ⅱ	体育館		1.0		能代東中			体育館				0.5	校舎Ⅰ	東雲中				(トイレ)			0.0	校舎Ⅰ	能代一中					体育館		0.5	校舎Ⅰ	能代南中						校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ 体育館	向能代小	実施済	1.0					1.0		淳城南小	実施済	1.0					1.0		計		4.25	5.75	6.0	7.0		7.25	
	R5		R6	R7	R8	R9	計	R10～																																																																																																																																								
淳城西小	校舎Ⅱ	1.0					1.0																																																																																																																																									
第五小	校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ 体育館				1.0																																																																																																																																									
第四小							0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
浅内小							0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
二ツ井小							0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
二ツ井中	校舎Ⅱ 体育館	1.0					1.0																																																																																																																																									
能代二中			校舎Ⅰ	校舎Ⅱ	体育館		1.0																																																																																																																																									
能代東中			体育館				0.5	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
東雲中				(トイレ)			0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
能代一中					体育館		0.5	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
能代南中						校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ 体育館																																																																																																																																								
向能代小	実施済	1.0					1.0																																																																																																																																									
淳城南小	実施済	1.0					1.0																																																																																																																																									
計		4.25	5.75	6.0	7.0		7.25																																																																																																																																									

	② 常時の調査・点検等 法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先度を考慮し対応した。 ③ エアコンの設置 小学校5校（淳城南小、第四小、向能代小、浅内小、二ツ井小）の音楽室及び理科室へのエアコン設置工事を行った。 ※浅内小学校図書室、第五小学校及び東雲中学校の空調設備改修工事、二ツ井中学校図書室のエアコン設置工事は3年度に実施済み。 各小中学校図書室のエアコン設置工事は4年度に実施済み。		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・大規模改修工事完了校数（累計）は4.25で、目標値4.25との差は±0であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）		
	[具体的な課題及び取組] ・大規模改修等に充てる財源の確保 能代市教育施設等長寿命化計画に基づき整備計画を国へ示し、引き続き交付金の獲得と有利な起債の活用に努める。また、交付金の追加配分等の機会があれば、時期を逃さず積極的に要望していく。		

基本目標

3 より心豊かで生き活きた暮らしにつながる学びの場づくりの推進

だれもが豊かな人生を送ることができるよう、学んだことを地域活動に活かすとともに、支え合う中でつながりを深めていきます。

【施策の方向性】

① 生涯にわたる多様な学びの機会の提供

多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。

② 学びと活動をつなげる環境づくり

学びによる仲間づくりを支援するほか、学びの成果を地域活動に活かす場や機会や、だれでも気軽に集い、交流できる場の提供に努めます。

③ 若者の主体的な活動や地域活動への参画促進

若者の仲間づくりや自主的な活動を支援するほか、地域づくりやボランティア活動をはじめとして、社会への実践的な参画を奨励、促進します。

大橋 純一 氏

ここに掲げられる基本目標は、子どもに限らず、そこに暮らすすべての人がそれぞれのニーズやライフステージにあわせて学び、またそれを機に人々が集い、繋がり、支え合う環境を整えることを念頭に置いたものであると受け止めました。その観点で個々の実績を見ますと、年度計画を上回る公開講座の開催や図書館管理運営事業の展開があるほか、勤労青少年ホーム活動・公民館活動事業等においても多種多様な催し、またその各々における膨大な数の参加者が確認でき、目標に即した健全な取り組みがあったことがみとめられます。能代市に限らず、少子高齢化という地方が抱える構造的な問題は、一朝一夕には解決しがたい難しい課題を孕みます。しかしそうであるからこそ、その地域での学びを通してそこに住む一人ひとりがより豊かで生き活きとした暮らしを体現し、かつその一人ひとりがそれらの学びを通して繋がり、支え合うことが肝要です。各計画における「課題及び今後の方向性」には現状の評価に加え、次年度に向けた改善点に関する記述も多く見られます。その中でも、特に「連携を図る」や「連帯意識の高揚を図る」、「学びから得た繋がりをより大きな“わ”に繋げる」といった言葉が印象的でした。是非とも、この地域だからこそできる学びの環境づくりをお願いしたいと思います。

石川 智也 氏

基本目標3の「より心豊かで生き活きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進」については、全ての項目で目標を達成することができています。コロナ明けの各施設の運営計画や講座内容の工夫によるものと思われます。

生涯学習推進事業については、出前講座の開催数が4年度に比べ増えており、受講者数も増えています。興味関心のある講座内容で、増加したものと考えられます。効果的な運用がなされているので、生涯学習推奨員の有効活用を図りながら、これからもニーズやライフステージに応じた講座づくりをお願いします。

図書館管理運営事業では、利用者満足度や来館者数が目標を上回っており、十分に目標を達成したといえます。コロナ明け講座の内容を工夫した積極的な運営やおはなし会、図書貸し出し等の活動が高評価につながったものと思われます。今後も利用者のニーズを把握し、様々な楽しい取組を期待します。

中央公民館・地区公民館の開設講座による、学びや交流の場の提供についてはその実施講座数が4年度より増加しており、積極的な活動が行われました。今後は講座時間帯や実施時期を見直したり、アンケート等により講座内容を工夫したりして、より多くの人が参加できるように進めていってください。

勤労青少年ホーム活動事業は、コロナ明けでの活動団体が増えており、意欲的に取り組んできたことがわかります。広く施設活用について周知し、今後も青少年等の活動を支援していってください。

公民館ボランティア育成事業については、有意義な活動であるので、今後も計画的に進めていってほしいと思います。

事業・取組	生涯学習推進事業					3-①	
方針・目標	多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	出前講座の開催数 (実績値)=(実数)	目標	153 回以上				
	[目標設定基準:R4 実績値]	実績	174 回				
実績及び成果	1 出前講座（市職員が講師となり、市の事業や各種制度を説明） 「特殊詐欺・悪質商法とその対応策」「災害に備える」「フレイルに関する こと」等 174 回開催（受講者数 4,064 人）						
	2 生涯学習ボランティア（登録ボランティアが講師（登録数 46）） 「星空観察会」「風の松原散策」「よさこい」等 3 回開催（受講者数 83 人）						
	(参 考)						
	区 分	4 年度		5 年度			
		開催数	受講者数	開催数	受講者数		
	出前講座	153 回	2,954 人	174 回	4,064 人		
	生涯学習ボランティア	2 回	16 人	5 回	83 人		
	合 計	155 回	2,970 人	179 回	4,147 人		
	3 生涯学習奨励員（26 人委嘱） 学習会、研修会等への参加、学習相談への対応等						
	点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る			
[説明] 出前講座の開催数は 174 回で、目標値の 153 回との差は+21 回であった。							
課題及び 今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・生涯学習奨励員による学習の成果等を、これまで以上に地域へ還元する仕組み づくりが重要である。 ・今後も引き続き、生涯にわたる学びの実践のみならず、学びから得た繋がりが より大きな地域の“わ”へ繋がるよう努める。						

事業・取組	図書館管理運営事業					3-①																																																																			
方針・目標	多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。																																																																								
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																																																		
	図書館利用者の満足度 (実績値)=(利用者満足度調査(5段階※)換算点の平均値) ※「満足」5点～「不満」1点	目標	4以上																																																																						
		実績	4.37																																																																						
実績及び成果	・コロナ5類への移行に伴い、おはなし会や講座等を積極的に開催し参加者の増加につながっている。 ・広報・北羽新報・図書館だより等により新刊やお薦め本を紹介するとともに、各館ともに工夫を凝らしたテーマ展示を行い、読書活動の推進を図っている。 ・能代PR大使「宇宙なんちゃらこてつくん」のキャラクターを登録カード等に活用し、市の取組と連携しながら、子どもや子育て層の利用増加に向けた取組を行っている。 図書館運営方針に基づき、各種事業等を展開した。 1 来館者数、貸出冊数 ※統計は全て2館（能代・二ツ井）合計 <table><tr><th rowspan="2">年度/項目</th><th rowspan="2">来館者数</th><th colspan="3">貸出冊数</th></tr><tr><th>個人貸出</th><th>団体貸出</th><th>合計冊数</th></tr><tr><td>5年度</td><td>100,954人</td><td>137,972冊</td><td>10,957冊</td><td>148,929冊</td></tr><tr><td>4年度</td><td>96,350人</td><td>140,345冊</td><td>10,950冊</td><td>151,295冊</td></tr></table> 2 図書館資料の充実（蔵書冊数） <table><tr><th>年度/項目</th><th>一般書</th><th>郷土</th><th>児童書</th><th>合計冊数</th></tr><tr><td>5年度</td><td>138,803冊</td><td>19,780冊</td><td>43,279冊</td><td>201,862冊</td></tr><tr><td>4年度</td><td>137,909冊</td><td>19,440冊</td><td>43,013冊</td><td>200,362冊</td></tr></table> 3 主な図書館サービス <table><tr><th>項目/年度</th><th>4年度</th><th>5年度</th></tr><tr><td>予約冊数</td><td>5,527冊</td><td>5,737冊</td></tr><tr><td>他館との相互貸借（借受）</td><td>575冊</td><td>678冊</td></tr><tr><td>レファレンス（資料調査・案内等）</td><td>10,073件</td><td>9,612件</td></tr><tr><td>インターネット端末利用者数</td><td>1,423人</td><td>2,029人</td></tr><tr><td>コピーサービス</td><td>2,330枚</td><td>2,838枚</td></tr><tr><td>配本サービス等</td><td>146回/6,913冊</td><td>166回/7,651冊</td></tr></table> 4 読書活動の推進と学習機会の提供 <table><tr><th>項目/年度</th><th>4年度</th><th>5年度</th></tr><tr><td>おはなし会</td><td>35回/257人</td><td>42回/582人</td></tr><tr><td>図書館講座</td><td>8回/169人</td><td>15回/292人</td></tr><tr><td>選書体験（小・中学校）</td><td>4回/42人</td><td>4回/51人</td></tr></table> 5 市・学校・社会教育施設等との連携 ア 「子育て・家庭教育に関する本」のセット貸出							年度/項目	来館者数	貸出冊数			個人貸出	団体貸出	合計冊数	5年度	100,954人	137,972冊	10,957冊	148,929冊	4年度	96,350人	140,345冊	10,950冊	151,295冊	年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計冊数	5年度	138,803冊	19,780冊	43,279冊	201,862冊	4年度	137,909冊	19,440冊	43,013冊	200,362冊	項目/年度	4年度	5年度	予約冊数	5,527冊	5,737冊	他館との相互貸借（借受）	575冊	678冊	レファレンス（資料調査・案内等）	10,073件	9,612件	インターネット端末利用者数	1,423人	2,029人	コピーサービス	2,330枚	2,838枚	配本サービス等	146回/6,913冊	166回/7,651冊	項目/年度	4年度	5年度	おはなし会	35回/257人	42回/582人	図書館講座	8回/169人	15回/292人	選書体験（小・中学校）	4回/42人	4回/51人
年度/項目	来館者数	貸出冊数																																																																							
		個人貸出	団体貸出	合計冊数																																																																					
5年度	100,954人	137,972冊	10,957冊	148,929冊																																																																					
4年度	96,350人	140,345冊	10,950冊	151,295冊																																																																					
年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計冊数																																																																					
5年度	138,803冊	19,780冊	43,279冊	201,862冊																																																																					
4年度	137,909冊	19,440冊	43,013冊	200,362冊																																																																					
項目/年度	4年度	5年度																																																																							
予約冊数	5,527冊	5,737冊																																																																							
他館との相互貸借（借受）	575冊	678冊																																																																							
レファレンス（資料調査・案内等）	10,073件	9,612件																																																																							
インターネット端末利用者数	1,423人	2,029人																																																																							
コピーサービス	2,330枚	2,838枚																																																																							
配本サービス等	146回/6,913冊	166回/7,651冊																																																																							
項目/年度	4年度	5年度																																																																							
おはなし会	35回/257人	42回/582人																																																																							
図書館講座	8回/169人	15回/292人																																																																							
選書体験（小・中学校）	4回/42人	4回/51人																																																																							

	保育所向け・小学校向け・中学校向け（生涯学習・スポーツ振興課） イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出（6月、11月／市民活力推進課） ウ 公民館等施設への配本（15施設） エ 読み聞かせおすすめ絵本の紹介チラシ（年3回／健康づくり課） オ 職場体験・インターンシップ・社会科見学等の受入れ カ 能代PR大使「宇宙なんちゃらこてつくん」キャラクターの活用（登録カード・しおり等） 6 指定管理者との連携 ア ニツ井館・能代館での資料搬送（週2回 ※予約資料は週3回） イ 月例打合せ（毎月1回） ウ 特別貸出【ニツ井図書館で実施】（能代図書館の図書借り入れ） 一般図書 約 1,000冊 × 2回（7・1月） 児童図書 約 200冊 × 3回（6・11・3月）														
点 検 ・ 評 価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る												
	[説明] ・ 図書館利用者満足度の平均値は 4.37 点で、目標値 4 点との差は+0.37 点であった。 【図書館利用者満足度調査結果（全体的な満足度平均）】 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <th>年度</th><th>能代図書館</th><th>ニツ井図書館</th><th>（能・二）平均</th></tr> <tr> <td>5年度</td><td>4.32</td><td>4.41</td><td>4.37</td></tr> <tr> <td>4年度</td><td>4.27</td><td>4.43</td><td>4.35</td></tr> </table> 5段階評価…「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点			年度	能代図書館	ニツ井図書館	（能・二）平均	5年度	4.32	4.41	4.37	4年度	4.27	4.43	4.35
年度	能代図書館	ニツ井図書館	（能・二）平均												
5年度	4.32	4.41	4.37												
4年度	4.27	4.43	4.35												
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・ 市民の学習要求に応えられるよう図書資料の充実に努め、読書活動を推進する。 ・ 図書館利用者満足度調査や講座後のアンケート等により、利用者のニーズを把握し、親しまれる図書館運営を推進する。 ・ 学校や他の公共図書館、図書館ボランティア等との連携を図り、多様な学習機会の提供やサービスの充実に努める。														

事業・取組	公民館活動事業、勤労青少年ホーム活動事業、働く婦人の家活動事業、市民文化振興事業						3-②																																																																																	
方針・目標	学びによる仲間づくりを支援するほか、学びの成果を地域活動に活かす場や機会や、だれでも気軽に集い、交流できる場の提供に努めます。																																																																																							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																																																																	
	中央公民館・地区公民館等開設講座数	目標	140 以上																																																																																					
	(実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	実績	150																																																																																					
	自主学习グループ等登録団体数	目標	259 以上																																																																																					
	(実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	実績	257																																																																																					
実績及び成果	1 中央公民館・地区公民館等開設講座・回数 <table><tr><td>項目／年度</td><td>4 年度</td><td>5 年度</td></tr><tr><td>講座数</td><td>140講座</td><td>150講座</td></tr><tr><td>回数（日数）</td><td>181回</td><td>188回</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>7,083人</td><td>6,576人</td></tr><tr><td>対人口比(各年3.31現在)</td><td>14.5%</td><td>13.7%</td></tr></table> 2 中央公民館・地区公民館等開催事業内訳（数値は延べ数） <table><tr><td>分野</td><td>おもな事業内容</td><td>対象</td><td>回数 または日数</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>家庭教育 (幼児教育)</td><td>親子体験活動</td><td>年中・年長児・小学生と保護者</td><td>13回</td><td>380人</td></tr><tr><td rowspan="3">青少年教育</td><td>体験活動</td><td>地区小学生</td><td>20 回</td><td>343 人</td></tr><tr><td>ボランティア育成</td><td>中・高校生</td><td>8回</td><td>79人</td></tr><tr><td>障がい者の生涯学習支援</td><td>支援学校生ほか</td><td>11回</td><td>121人</td></tr><tr><td rowspan="4">成人教育</td><td>集合学習（市民学校）</td><td>一般成人</td><td>59回</td><td>614人</td></tr><tr><td>集合学習（その他講座等）</td><td>一般成人</td><td>10回</td><td>140人</td></tr><tr><td>働く婦人の家講座</td><td>一般成人</td><td>9回</td><td>120人</td></tr><tr><td>勤労青少年ホーム講座</td><td>一般成人</td><td>2回</td><td>17人</td></tr><tr><td>高齢者教育</td><td>集合学習（寿大学）</td><td>高齢者</td><td>34回</td><td>1,322人</td></tr><tr><td>文化活動</td><td>公民館祭・文化祭</td><td>市民等</td><td>16日間</td><td>3,313人</td></tr><tr><td>コミュニティ活動</td><td>地域づくり講演会</td><td>一般成人</td><td>2回</td><td>46人</td></tr><tr><td>創作活動</td><td>創作作品活動（創作かるたコンテスト作品応募・展示）</td><td>市民等</td><td>4日間 ※展示期間</td><td>81人 ※作品数</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>188回</td><td>6,576人</td></tr></table> 3 事業周知方法 ○中央公民館ほか（指定管理）…広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・フェイスブック・Twitter ○二ツ井公民館（指定管理）…広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・インスタグラム ○地区公民館…（地域住民）チラシ（地域以外）広報								項目／年度	4 年度	5 年度	講座数	140講座	150講座	回数（日数）	181回	188回	参加者数	7,083人	6,576人	対人口比(各年3.31現在)	14.5%	13.7%	分野	おもな事業内容	対象	回数 または日数	参加者数	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・小学生と保護者	13回	380人	青少年教育	体験活動	地区小学生	20 回	343 人	ボランティア育成	中・高校生	8回	79人	障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	11回	121人	成人教育	集合学習（市民学校）	一般成人	59回	614人	集合学習（その他講座等）	一般成人	10回	140人	働く婦人の家講座	一般成人	9回	120人	勤労青少年ホーム講座	一般成人	2回	17人	高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	34回	1,322人	文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	16日間	3,313人	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	2回	46人	創作活動	創作作品活動（創作かるたコンテスト作品応募・展示）	市民等	4日間 ※展示期間	81人 ※作品数	合 計			188回	6,576人
項目／年度	4 年度	5 年度																																																																																						
講座数	140講座	150講座																																																																																						
回数（日数）	181回	188回																																																																																						
参加者数	7,083人	6,576人																																																																																						
対人口比(各年3.31現在)	14.5%	13.7%																																																																																						
分野	おもな事業内容	対象	回数 または日数	参加者数																																																																																				
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・小学生と保護者	13回	380人																																																																																				
青少年教育	体験活動	地区小学生	20 回	343 人																																																																																				
	ボランティア育成	中・高校生	8回	79人																																																																																				
	障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	11回	121人																																																																																				
成人教育	集合学習（市民学校）	一般成人	59回	614人																																																																																				
	集合学習（その他講座等）	一般成人	10回	140人																																																																																				
	働く婦人の家講座	一般成人	9回	120人																																																																																				
	勤労青少年ホーム講座	一般成人	2回	17人																																																																																				
高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	34回	1,322人																																																																																				
文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	16日間	3,313人																																																																																				
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	2回	46人																																																																																				
創作活動	創作作品活動（創作かるたコンテスト作品応募・展示）	市民等	4日間 ※展示期間	81人 ※作品数																																																																																				
合 計			188回	6,576人																																																																																				

	4 文化月間の設定		
		4 年度	5 年度 (10/15～11/20)
	展示部門	8 団体 入場者数 8,131 人	7 団体 入場者数 6,805 人
	舞台部門	14 団体 入場者数 503 人	17 団体 入場者数 691 人
	5 自主学習グループ等登録団体数 ※自主学習グループ＋働く婦人の家利用グループ		
		4 年度	5 年度
	団体数	259団体	257団体
	人数	3,322人	3,129人
	対人口比(各年3.31現在)	6.8%	6.5%
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・中央公民館・地区公民館等開設講座数は150講座で、目標値140講座との差は＋10講座であった。回数は188回で、4年度の140講座を上回ったものの、参加者数は対人口比で0.8ポイント下回った。 ・自主学習グループ等登録団体数は257団体で、目標値259団体との差は△2団体であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()		
	[具体的な課題及び取組] ・参加者アンケートでは、満足度を数値化できるような設問を設定し、更なるニーズの把握に努める。 ・講座へ参加しやすい時間帯の設定や、他行事と重ならないような日程調整を引き続き行っていく。 ・中央公民館では「障害者の生涯学習支援モデル事業」を継続し、より効果的な学習プログラムを模索していく。「ボランティア育成講座」では、対象を中学生までとし、広く参加者を募る。 ・引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行い、情報交換を密にする。 ・中央公民館・地区公民館の事業担当者間の情報交換の場として公民館長会議を実施する。 ・能代市芸術文化協会と連携し、市民文化月間への参加団体の維持・拡大を図る。		

事業・取組	勤労青少年ホーム活動事業、公民館活動事業						3-③																			
方針・目標	若者の仲間づくりや自主的な活動を支援するほか、地域づくりやボランティア活動をはじめとして、社会への実践的な参画を奨励、促進します。																									
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																			
	勤労青少年ホーム利用グループ数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値+1]	目標	5 以上																							
		実績	5																							
	中央公民館開催中高生ボランティア育成講座参加者数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	68 人以上																							
		実績	79 人																							
実績及び成果	1 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数 <table><tr><td></td><td>4 年度</td><td>5 年度</td></tr><tr><td>利用グループ数</td><td>4団体</td><td>5団体</td></tr><tr><td>登録人数</td><td>14人</td><td>18人</td></tr></table> ・活動場所がコロナワクチン接種会場となり活動できなかった団体が再登録し活動を再開した。 ・新型コロナの影響が回復傾向にあり、若干の増加傾向が見えている。 2 中央公民館開催中高生ボランティア育成講座事業内訳（数値は延べ数） <table><tr><td></td><td>4 年度</td><td>5 年度</td></tr><tr><td>回数</td><td>10回</td><td>8回</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>68人</td><td>79人</td></tr></table> ・ボランティア受け入れ行事の中止等により回数及び参加者数に変動がある。									4 年度	5 年度	利用グループ数	4団体	5団体	登録人数	14人	18人		4 年度	5 年度	回数	10回	8回	参加者数	68人	79人
	4 年度	5 年度																								
利用グループ数	4団体	5団体																								
登録人数	14人	18人																								
	4 年度	5 年度																								
回数	10回	8回																								
参加者数	68人	79人																								
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																							
	[説明] ・勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録の利用グループ数は 5 団体で、目標値 5 団体との差は±0 であった。 ・中央公民会開催中高生ボランティア育成講座参加者は 79 人で、目標値 68 人との差は+11 人であった。																									
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・能代市勤労青少年ホーム利用者連絡協議会は、勤労青少年ホームへの登録者で構成されており、その活動を補助し、経済的負担を軽減することにより、ホームの利用促進を図り、もって青少年の連帯意識の高揚と活動の活性化を図ることを目的とし、施設使用料に対しその一部を補助している。 ・新たな登録グループや活動参加者の増加につながるよう、指定管理者と連携していく。																									

基本目標

4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興

ふるさとの誇りを守り伝えるため、郷土の伝統芸能や文化財を市民共有の財産として、その保存、継承に取り組みます。また、子どもの文化体験活動を推進することにより、世代間交流を促し、あらゆる世代が共に文化芸術を楽しむ場をつくります。

【施策の方向性】

① 子どもの文化体験活動支援

相談体制を整えることにより、学校における文化芸術体験や親子の伝統文化体験活動を支援します。

② 地域固有の文化芸術の継承

学校や地域と連携し、地域固有の文化芸術である民俗芸能や民俗行事の継承活動を支援します。

③ 文化財等の調査・保存・活用の推進

文化財等や歴史資料、その他の資料の分類・整理を進め、活用を進めていきます。また、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。

大橋 純一 氏

ふるさとの文化・芸術を継承し、その振興に取り組むことは、子どもへの教育的価値という点で意義があるばかりでなく、地域の人々がおらが町としての誇りを持ち、真に繋がり合える人・場所が確かにここにあることを自覚できるという点で、欠くことができないものだと考えます。その継承や振興が、文化庁をはじめとする然るべき機関からの評価を得て、また費用面での相応の補助を得て展開されていることを、まずは心強く感じた次第です。加えて、その各取り組みが、一つは芸術家の講話や実技披露、芸術鑑賞といった教養的なもの、二つはクラブ活動補助、民俗交流大会の参加といった体験的なもの、そして三つは民俗資料等の收集整理、檜山安東氏城館跡の発掘調査といった文化財保護に関するものに大別され、それぞれに幅広く、多様な切り口のもとに行われていることが、同様に心強く感じられました。一方、そうした中で、いくつかの保存会が担い手不足により維持不能となった例や、小学校での正課のクラブ活動が希望児童の減少により廃止となった例が見られることは残念でした。活動自体が負担となってしまう文化の継承は本意ではないと思いますが、今という時代と向き合いながら、たとえば規模の縮小を図るなど、やりうる範囲で、ふるさとの誇りを守り伝える取り組みを模索していただければと思います。

石川 智也 氏

ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興について、全てほぼ目標を達成していて、確かな活動が行われたことがわかります。

市民文化振興事業と文化会館主催事業については、文化庁派遣事業の有効活用や、芸術鑑賞教室の実施などにより、目標を達成することができています。音楽、芸術作品、ミュージカルなどを身近に鑑賞したり、体験したりすることは、特に子どもたちの豊かな心を育むことにつながります。今後も計画的に進めていき、自ら活動をしている子どもたちについては、できる範囲で支援をしていってほしいものです。

民俗芸能振興事業について、各民俗芸能団体の少子高齢化による構成員不足は難しい問題です。課題もあると思われますが、実施している小中学生への支援の充実や、民俗芸能アーカイブ等による活動記録の保存、貴重なお面や用具の保存への支援を続けていってください。

文化財保護事業について、その保護と活用の観点から、適切な活動が行われています。今後も文化財の展示やそれに関する講演、研修会などについて広く周知し、有効活用を図っていってください。

檜山安東氏城館跡保存管理事業については、計画に基づいての発掘調査、整備普及活動などが行われており、十分に目標が達成されていると思います。能代市にとって、とても貴重な遺跡です。タイムリーに情報公開をして、進めていってください。

事業・取組	市民文化振興事業、文化会館主催事業						4-①																
方針・目標	学校における文化芸術体験や親子の伝統文化体験活動を支援します。																						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																
	子供育成推進事業数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	2 以上																				
		実績	3																				
	伝統文化親子教室事業数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	3 以上																				
		実績	3																				
実績及び成果	文化庁の文化芸術による子供育成推進事業のうち、芸術家の派遣事業は、小学校・中学校等に個人または少人数の芸術家を派遣し、講話、実技披露、実技指導（以下「講話等」という。）を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的とした事業で、小学校 1 校、中学校 2 校で実施した。 文化庁の伝統文化親子教室事業は、次代を担う子供たちを対象に、伝統文化等に関する活動を計画的・継続的に体験・習得できる取組及び教室で習得した技芸等の成果を披露する発表会や、地域で開催される行事等へ参加する取組が対象で、3 団体が事業を活用した。 1 市民文化振興（文化芸術団体等への支援等） ・文化芸術による子供育成推進事業（文化庁／小学校 1 校、中学校 2 校で実施） ・伝統文化親子教室事業（文化庁／採択 3 事業） ・芸術文化活動事業費補助金（ミュージカル等公演費の補助） 能代市民ミュージカル 650 千円（9/3 来場 841 人/出演 90 人） ・能代ミュージカルキッズ支援（練習会場使用料等の補助）→R5 は公演なし ・その他（後援、文化会館助成等） 2 文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携 <table><tr><th>事業名</th><th>開催日</th><th>対象</th><th>入場者</th></tr><tr><td>わらび座ミュージカル「北斎マンガ」 学校アウトリーチ</td><td>9/8</td><td>浅内小全校</td><td>59 人</td></tr><tr><td rowspan="2">公共ホール音楽活性化事業「カメハ」 学校アクティビティ</td><td>1/18</td><td>能代東中 1 年 第五小 3 年</td><td>38 名 22 名</td></tr><tr><td>1/19</td><td>支援学校中学部 湊城南小 3 年</td><td>19 名 47 名</td></tr></table> ※ 4 年度は実績なし								事業名	開催日	対象	入場者	わらび座ミュージカル「北斎マンガ」 学校アウトリーチ	9/8	浅内小全校	59 人	公共ホール音楽活性化事業「カメハ」 学校アクティビティ	1/18	能代東中 1 年 第五小 3 年	38 名 22 名	1/19	支援学校中学部 湊城南小 3 年	19 名 47 名
事業名	開催日	対象	入場者																				
わらび座ミュージカル「北斎マンガ」 学校アウトリーチ	9/8	浅内小全校	59 人																				
公共ホール音楽活性化事業「カメハ」 学校アクティビティ	1/18	能代東中 1 年 第五小 3 年	38 名 22 名																				
	1/19	支援学校中学部 湊城南小 3 年	19 名 47 名																				
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																				
	[説明] ・子供育成推進事業数は 3 事業で、目標値 2 事業との差は+1 事業であった。																						

課 題 及 び	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
今後の方向性	[具体的な課題及び取組] ・市ホームページや広報を中心に情報提供を行う。 ・各種助成事業等については、引き続き様々な団体が利活用できるよう、わかりやすい周知に努める。 ・指定管理者と連携し、文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携を図る。

事業・取組	民俗芸能振興事業						4-②																	
方針・目標	学校や地域と連携し、地域固有の文化芸術である民俗芸能や民俗行事の継承活動を支援します。																							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																	
	民俗芸能アーカイブ公開動画数 (実績値)=(実数)	目標	241	242	243	244	245																	
	[目標設定基準:R4 実績値]	実績	241																					
実績及び成果	1 能代市民俗芸能連合会の活動を支援した。 ・構成団体数（単位保存会数/R6. 3. 31 現在）：16 団体 ※ 檜山舞保存会・田代郷土芸能保存会が、担い手減少により維持不能となり解散・脱退 ・合同発表会 能代会場：10/22 能代市総合体育館 4 団体出演 二ツ井会場：10/29 きみまち阪第一広場 ※雨天中止 2 後継者育成事業を支援した。 ・鳥形獅子踊： 向能代小学校正課クラブ活動 令和5年度秋田県子ども民俗交流大会参加 鳥形奴踊り（向能代小学校児童）14 名 ・檜山舞・鰯淵番楽・鶴形ささら： 能代東中学校合同発表会 ※ 仁鮎ささら踊の二ツ井小学校正課クラブ活動（平成 24（2012）年度設立）は、希望児童減少により廃止 ※ 子ども民俗芸能発表会は会場使用不能（新型コロナワクチン接種会場）のため中止となるも、保存会・学校と連携し、県主催の子ども民俗交流大会参加につなげた。 3 民俗芸能の記録保存を支援した。 能代市民俗芸能アーカイブ（Youtube） ※令和4年度運用開始 <table><tr><td></td><td>4 年度</td><td>5 年度</td><td>前年比</td></tr><tr><td>チャンネル登録者数（人）</td><td>52</td><td>74</td><td>22</td></tr><tr><td>公開動画数（本）</td><td>241</td><td>241</td><td>0</td></tr><tr><td>視聴数（回）</td><td>8, 087</td><td>13, 484</td><td>5, 397</td></tr></table>									4 年度	5 年度	前年比	チャンネル登録者数（人）	52	74	22	公開動画数（本）	241	241	0	視聴数（回）	8, 087	13, 484	5, 397
	4 年度	5 年度	前年比																					
チャンネル登録者数（人）	52	74	22																					
公開動画数（本）	241	241	0																					
視聴数（回）	8, 087	13, 484	5, 397																					
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																					
	[説明] ・民俗芸能アーカイブ公開動画数は 241 で、目標値 241 との差は±0 であった。																							
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・地域コミュニティが縮小していく現状では、地域外の人材を呼び込むこと、存続している行事を記録すること、休止・消滅した行事の記録・用具等を収集保管することが、今後の支援の方向性となるため、民俗芸能アーカイブの運用を促進する。 ・学校との連携においては、学校での活動のあり方、指導する人材、児童生徒の興味関心、発表の場など、複合的な課題がある。引き続き連携のあり方を検討していく。																							

	・会員数の減少と高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難である。今後も連合会と連携し、用具修繕への補助など、単位保存会への支援を継続していく。
--	--

事業・取組	文化財保護事業／能代文化財資料収蔵庫管理費										4－③																																																																																																					
方針・目標	文化財等や歴史資料、その他の資料の分類・整理を進め、活用を進めていきます。																																																																																																															
目標指標	指標							R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																				
	指定・登録文化財数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]						目標	101 以上																																																																																																								
							実績	101																																																																																																								
	収蔵庫データベース公開率 (実績値)=((公開点数)/(R6.3.31 現在 在収蔵点数))×100						目標値		40%	100%	110%	120%																																																																																																				
							実績																																																																																																									
実績及び成果	1 指定・登録文化財 (R6.3.31 現在) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="7">有形文化財</th><th rowspan="2">無形文化財</th><th rowspan="2">有形民俗文化</th><th rowspan="2">無形民俗文化</th><th colspan="3">記念物</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>建造物</th><th>絵画</th><th>彫刻</th><th>工芸</th><th>書跡</th><th>考古</th><th>歴史資料</th><th>史跡</th><th>名勝</th><th>天然記念物</th></tr><tr><td>国指定</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>県指定</td><td>2</td><td></td><td>4</td><td></td><td>3</td><td>4</td><td>1</td><td></td><td></td><td>7</td><td>3</td><td></td><td>4</td><td>28</td></tr><tr><td>市指定</td><td>4</td><td>12</td><td>2</td><td>14</td><td>15</td><td>2</td><td></td><td></td><td>7</td><td>8</td><td>1</td><td></td><td>2</td><td>67</td></tr><tr><td>国登録</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td>計</td><td>10</td><td>12</td><td>6</td><td>14</td><td>18</td><td>6</td><td>1</td><td></td><td>7</td><td>15</td><td>6</td><td></td><td>6</td><td>101</td></tr></table>													有形文化財							無形文化財	有形民俗文化	無形民俗文化	記念物			合計	建造物	絵画	彫刻	工芸	書跡	考古	歴史資料	史跡	名勝	天然記念物	国指定											2			2	県指定	2		4		3	4	1			7	3		4	28	市指定	4	12	2	14	15	2			7	8	1		2	67	国登録	4													4	計	10	12	6	14	18	6	1		7	15	6		6	101
	有形文化財							無形文化財	有形民俗文化	無形民俗文化	記念物			合計																																																																																																		
	建造物	絵画	彫刻	工芸	書跡	考古	歴史資料				史跡	名勝	天然記念物																																																																																																			
国指定											2			2																																																																																																		
県指定	2		4		3	4	1			7	3		4	28																																																																																																		
市指定	4	12	2	14	15	2			7	8	1		2	67																																																																																																		
国登録	4													4																																																																																																		
計	10	12	6	14	18	6	1		7	15	6		6	101																																																																																																		
	2 能代市文化財資料収蔵庫への市所蔵資料搬入 各所に分散保管されていた市所蔵資料（指定文化財を含む）の収蔵庫搬入を完了し、一括して資料を管理できる環境に整えた。 清掃・リスト・梱包・運搬 5/30・8/8～10・9/28・12/13・1/16・2/13 (6回) 民俗資料等（農具ほか）・出土遺物コンテナ・関係図書・能代春慶塗・古写真パネル・二ツ井町史収集資料・市史編さん事業収集資料・市所蔵絵画・笹森文庫ほか																																																																																																															
	3 個人所蔵の資料調査及び寄贈寄託受入、市所蔵資料の分類整理 ・古写真パネルの整理ほか ・寄贈寄託受入 指定文化財「五十嵐蠹仙 八幡太郎義家出陣之図」 指定文化財「春慶塗広蓋 2枚」ほか																																																																																																															
	4 文化財等の活用（写真掲載等は除く） 特別展示 考古資料 48 点 他機関等貸出 考古資料 95 点／民俗資料 16 点／工芸 18 点／古文書 13 点 ※ 貸出先：秋田県立博物館ほか ※																																																																																																															
	5 関係団体学習活動等の支援 ①秋田県文化財保護協会能代支部 ・市内研修会「東雲台地とその周辺の遺跡文化財探訪会」 共催 11/14 於 杉沢台遺跡・古館遺跡・鹿野城遺跡・東雲精錬所跡ほか 参加者：35 人 【満足度 平均 4.69 94%】 ・研究発表会「加護山精錬所と鑄造貨幣」 2/25 於 中央公民館 ②二ツ井町文化財保護協会																																																																																																															

	・研修会「清原氏の足跡を訪ねて」 9/25 於 清原氏墓地・岩関神社・清徳寺・仁鮎釈迦堂 ほか ・研修会「梅林寺研修会」 共催 9/29 於 梅林寺 参加者：10 人 ③市民おもしろ塾 ・能代市柏子所貝塚・麻生遺跡の縄文遺物展・講演会 共催 「柏子所貝塚と麻生遺跡について」講師：秋田県立博物館 加藤 竜 氏 「能代地区の縄文時代後期」講師：谷地 薫 氏 3/16～17 於 中央公民館第5研修室 参加者：延べ 307 人 【満足度 平均 4.46 80%】		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・指定・登録文化財数は 101 で、目標値 101 との差は±0 であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・収蔵施設を拠点として市所蔵資料の保管、整理を進めるとともに、個人所蔵文化財の所在調査（追跡調査）及び情報収集に努め、市外への流出や散逸が懸念されるものについては、市への寄贈寄託を依頼していく。 ・収蔵庫の収蔵資料データベースの作成と公開を進め、市民や調査研究者が資料情報へ容易にアクセスできる基盤を整備する。 ・専門機関や団体と連携しながら、研修会や講座、特別企画展示等を開催することで、文化財等の活用を図っていく。		

事業・取組	檜山安東氏城館跡保存管理事業						4－③	
方針・目標	国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。							
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9
	見学会・報告会・ガイド研修会等参加者数（延べ人）		目標	40人以上				
			実績	40人				
実績及び成果	1 発掘調査 前年度に引き続き通称「本丸」の調査を実施した。 調査整備委員会：①7/28 ②10/26 ※現地指導は随時実施 調査箇所：通称「本丸」 調査期間：5/17 ～ 9/29 調査面積：約 138 m ²							
	2 史跡活用のための整備 計画に基づく整備を行った。 散策のためのサイン（進路指示案内板）は、予定していた全てを設置した。 景観伐木：支障木・危険木伐採 約 130 本、集積木運搬 12t 除伐 ： 1 ha 案内板等の設置： 1 基（高山地区）							
	3 史跡管理のため除草を行った。 延べ 29ha 檜山城跡：遺構箇所 11 ha×2回、遊歩道 2回 大館跡 ：遺構箇所 7 ha×1回							
	4 史跡き損に対応した。 令和5年7月大雨災害による斜面崩落 4ヵ所 → シート張り、土のう設置などの応急処置済。今後、復元工事予定							
	5 教育普及活動を行った。 能代東中学校ふるさとを知る活動 5/10 参加者 41人 檜山城跡発掘調査見学会 8/27 参加者 20人 主催 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会 3/ 9 県生涯学習センター 檜山城跡出土遺物展示 3/ 2 ～ 3/12 県立図書館2階特別展示室 令和5年度檜山城跡発掘調査報告会 3/23 参加者 20人 主催							
	6 のしろ檜山周辺歴史ガイドの会と連携した。							
				4年度	5年度			
	会員数（名）			28	28			
	ガイド実績	件数		25	31			
		人数		1,004	489			
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る					
	[説明] ・見学会及び報告会の参加者数は40人で、目標値40人との差は±0であった。							

課 題 及 び	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
今後の方向性	[具体的な課題及び取組] ・ 調査整備委員会や国調査官の意見を踏まえながら、発掘調査及び整備を実施する。調査総括報告書の作成、整備計画の見直しを行う。 ・ 史跡への関心を高めるための情報発信のあり方を検討し、様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。 ・ 史跡理解のための全体案内板について、調査成果を元に設置する。

基本目標

5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進

市民や関係団体等と連携・協働しながら、だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、健康で豊かな生活を営む元気なまちを目指します。また、スポーツを活用して交流人口の拡大を図るとともに、地域に活力をつくり出します。

【施策の方向性】

① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、地域における子ども・若者のスポーツ機会の充実を図ります。

② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

体力や年齢等に応じて、日常的に運動やスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。

③ スポーツを活用した地域の活性化

バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致、トップアスリート等によるスポーツ教室の実施により交流人口の拡大に努めます。

④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

スポーツクラブ等への支援や地域スポーツ指導者・協議スタッフ等の人材育成・支援に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。

大橋 純一 氏

「何ごとも身体が資本」と言われるように、どのような学びを構想するうえでも、ここに掲げる基本目標は、その中核に据えられるべきものと考えます。その点、施策の方向性に記されているのは、一つは子どものスポーツ機会の充実に関わること、二つは子どもを含めた市民の健康づくりに関わること、そして三つはそれらに通底するスポーツ環境の整備に関わることであり、大目標である「健康で豊かな生活を営む元気なまちづくり」に向けた体系的かつ計画的な取り組みが、より相応しいあり方で展開されていることがうかがえます。またその成果は、たとえば新体力テストの合計点が各学年男女の半数以上で秋田県の平均を上回っていること、市の特色あるスポーツイベントへの参加者数が4年度比で1500人超の増となり、目標値を上回っていることなどにも現れています。コロナが第5類へと移行したのに伴い、ポストコロナの取り組みが様々に求められる中でも、このスポーツ活動・スポーツ環境の充実はもっとも市民の期待が大きい側面であろうと思われます。5年度の実績をベースに、各事業において一層充実した取り組みとなることを期待します。

石川 智也 氏

スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進についても、その評価や内容から全体としておおむね良好な取組が実施されていたと、捉えることができます。

子どもの体力向上の推進・好きなスポーツ環境づくりでは、新体力テストからほぼ目標どおりの結果を得ることができています。しかし、コロナ禍での運動不足の子ども、悪い生活習慣からの肥満傾向の子どももいるように思えます。運動の習慣化を目指し、個に応じた指導や、好きな運動に取り組めるような環境づくりを進めていってください。中学校部活動の地域移行については、勝利至上にならずに教育的視点を大切に進めていってほしいです。

青・壮年、高齢者のスポーツ環境については、各種団体との連携や各種スポーツ教室の実施により、目標どおりのスポーツ参加率となっています。これからもニーズに応じたスポーツ講座や、気軽に運動できる環境づくりを計画し、スポーツ実施率を高めていってください。

スポーツを活用した地域づくり、交流人口の拡大では、きみまちマラソンや能代カップ、合宿の誘致などの取組により、参加人数が増えており、目標が達成されています。これからもバスケの街づくりをはじめとして、魅力あるイベントを計画していき、スポーツ交流人口を拡大していってください。

スポーツ指導者の充実については、中学校部活の地域移行や、バスケの街づくりの取組に欠かせないものになるので、人材確保や有効な研修会の実施に努めてください。

スポーツ施設の充実については、楽しく安全に活動できるように、施設の維持管理、修繕に努めてください。

事業・取組	1 子どもの体力向上の推進 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進						5-①	
方針・目標	心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、スポーツ少年団や地域のスポーツ活動等を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	新体力テスト体力合計点平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合	目標	50%以上					
	(実績値)=((県平均を上回る学年(男女別)の数)/(2×9 学年))×100	実績	55.5%					
実績及び成果	1 子どもの体力向上の推進 関係団体と連携し、各種事業を通して運動の習慣化等に取り組んだ。 ○主な事業 ・能代市 きみまち二ツ井マラソン 参加者1,607人、うち小・中学生278人 R4：参加者1,367人、うち小・中学生222人 NOSHIROバスケットボールフェスタ 8/9 98人 R4：48人 ・指定管理者 マリンスポーツ教室 16回 R4:6回 ※カヌー&ヨット体験他 スポレクフェスタのしろ 10/9 603人 R4:295人、 ふたつ 1/14 74人 R4: 70人 ファミリーいきいき水泳塾・体操塾・陸上塾・スポーツ塾 各4回 269人 R4:各4回243人 ・市スポーツ協会 ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代 10/29 27人 R4：37人 能代市ドッチボール大会 2/11 225人 R4:155人 ※約半数が小学生 ・総合型地域スポーツクラブ 親子遊び運動教室 24回 230人 R4:23回 171人 ・市スポーツ少年団 スポレクフェスタのしろ兼能代市スポーツ少年団交流大会 10/9 603人 R4：295人 体力テスト（7種目のうち、5m時間往復走、腕立て伏せ、立ち3段跳びを各団で測定し結果提出） 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進 ・中学校部活動の活性化を図るため、段階的に地域移行を推進した。 組織体制の検討（関係機関との協議、検討 等） ・スポーツ少年団の活動への支援 スポーツ少年団への活動費の支援 指導者研修会の開催及び情報提供							

点 検 ・ 評 価	評価	B A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																																																																																																					
	[説明] ・新体力テストにおける体力合計点の平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合は55.5%で、目標値50%との差は+5.5ポイントであった。 $(10 \div (9 \text{ 学年} \times 2)) \times 100 \approx 55.5\%$ 【体力合計点平均（新体力テスト／5年度）】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小1</th> <th colspan="2">小2</th> <th colspan="2">小3</th> <th colspan="2">小4</th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">小6</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>32.18</td> <td>32.25</td> <td>38.61</td> <td>39.62</td> <td>44.56</td> <td>46.3</td> <td>49.85</td> <td>51.86</td> <td>55.75</td> <td>58.3</td> <td>61.99</td> <td>62.51</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>33.46</td> <td>33.7</td> <td>38.67</td> <td>39.35</td> <td>46.09</td> <td>47.23</td> <td>49.7</td> <td>54.18</td> <td>56.78</td> <td>59.7</td> <td>61.51</td> <td>61.94</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>1.28</td> <td>1.45</td> <td>0.06</td> <td>-0.27</td> <td>1.53</td> <td>0.93</td> <td>-0.15</td> <td>2.32</td> <td>1.03</td> <td>1.4</td> <td>-0.48</td> <td>-0.57</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中1</th> <th colspan="2">中2</th> <th colspan="2">中3</th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>35.76</td> <td>45.23</td> <td>44.03</td> <td>49.83</td> <td>51.16</td> <td>52.43</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>33.44</td> <td>44</td> <td>43.81</td> <td>50.56</td> <td>50.13</td> <td>56.75</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>-2.32</td> <td>-1.23</td> <td>-0.22</td> <td>0.73</td> <td>-1.03</td> <td>4.32</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>															小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	32.18	32.25	38.61	39.62	44.56	46.3	49.85	51.86	55.75	58.3	61.99	62.51	能代市	33.46	33.7	38.67	39.35	46.09	47.23	49.7	54.18	56.78	59.7	61.51	61.94	比較	1.28	1.45	0.06	-0.27	1.53	0.93	-0.15	2.32	1.03	1.4	-0.48	-0.57		中1		中2		中3								男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	35.76	45.23	44.03	49.83	51.16	52.43							能代市	33.44	44	43.81	50.56	50.13	56.75							比較	-2.32	-1.23	-0.22	0.73	-1.03	4.32					
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																																																																												
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																																											
秋田県	32.18	32.25	38.61	39.62	44.56	46.3	49.85	51.86	55.75	58.3	61.99	62.51																																																																																																																											
能代市	33.46	33.7	38.67	39.35	46.09	47.23	49.7	54.18	56.78	59.7	61.51	61.94																																																																																																																											
比較	1.28	1.45	0.06	-0.27	1.53	0.93	-0.15	2.32	1.03	1.4	-0.48	-0.57																																																																																																																											
	中1		中2		中3																																																																																																																																		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																																																	
秋田県	35.76	45.23	44.03	49.83	51.16	52.43																																																																																																																																	
能代市	33.44	44	43.81	50.56	50.13	56.75																																																																																																																																	
比較	-2.32	-1.23	-0.22	0.73	-1.03	4.32																																																																																																																																	
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] 体力の低下となった要因 都市部より山間部のほうが、普段歩かない（運動しない）子どもが多くなることから、体力の低下がみられるものと考えられる。また、コロナ禍において、スポーツをしない子供と、する子どもの両極化が進んでいることにより、体力の低下に繋がっている。 - 子どもの体力向上の推進 幼児から児童生徒まで運動の習慣化に繋げていくため、関係団体と連携しながら引き続き効果的な事業展開を図る。 - 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進 中学校部活動の地域移行を推進しつつ、今後少子化によりスポーツ少年団の減少も見込まれることから、生徒・児童が活動しやすい環境づくりを目指し、事業を推進する。																																																																																																																																						

事業・取組	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 3 健康づくり運動の推進						5-②
方針・目標	体力や年齢等に応じて、日常的に運動やスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	目標	50%以上				
	(実績値)=(市民意識調査結果)	実績	49.0%				
実績及び成果	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。 ○主な事業 ・指定管理者 初めてのマシントレーニング教室 能代 4回 29人 R4:4回 40人、二ツ井 16人 R4:4回 19人 初めての山登り教室 4回 49人 R4:4回40人 ステップエクササイズ教室 8回 99人 R4:8回 137人 ・市スポーツ協会 ZUMBA教室 12回 144人 新規 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※太極拳、ヨーガ、フィットネス他 延べ約4,100人 R4:延べ約3,600人 多種目スポーツ教室 47回 320人 R4:47回 286人 ※ニュースポーツ他 エアロ&ステップエクササイズ 42回 658人 R4:43回 777人 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体と連携し福祉と連動した健康づくり事業を展開している。 ・指定管理者 シルバースポーツの日 24回 1,249人 R4:24回 1,232人 ※ラージ卓球、ユニカール他 二ツ井シルバースポーツの日 24回 133人 R4:24回 161人 ※ラージ卓球、ユニカール他 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※ラージ卓球、軽運動、健康増進運動他 3 健康づくり運動の推進 ・のしろ歩け歩け大会 6/18 55人 R4:63人						
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
	【説明】 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率は49.0%で、目標値50%との差は△1.0ポイントであった。 【市民意識調査】 5年度:49.0%(4年度:54.3%)						

	目標値の 90%以内となることから、「B ほぼ目標どおり」とした。 スポーツ庁の見解 コロナ禍においては、テレワーク等により、自由に使える時間が増えたことからスポーツ実施率が上昇したが、コロナの影響が少なくなったことに伴い、スポーツをする時間の確保が難しくなったことが実施率低下の要因と考えられる。
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] 1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。成人の週 1 回以上のスポーツ実施率が下がっていることから、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫に加えて、気軽にスポーツができる方法を検討していく。 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 3 健康づくり運動の推進 のしろ歩け歩け大会を実施するなど、各種イベントが再開してきている。各団体や地域と連携を深め、週 1 回以上のスポーツ実施率を引きあげられるよう、引き続きスポーツの習慣化を図っていく。

事業・取組	1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進						5-③
方針・目標	バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	特色あるスポーツイベントの参加者数 (実績値)=(実数)	目標	4,000人以上				
		実績	4,144人				
実績及び成果	1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体と連携したスポーツ合宿等の取組 ・市スポーツ協会が中心となり実行委員会を組織し、バスケットボールキャラバンサマーリーグin能代を開催した。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ① 関係団体、民間企業等と連携したスポーツによる交流の推進 ・きみまちの里フェスティバル（きみまち二ツ井マラソン、物産フェア） 参加者数 1,607人 R4:1,367人 ② 新たなスポーツの魅力の発掘及び開発支援 ③ 大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客 ・能代カップの開催 参加者数 176人 R4：89人 ・全日本社会人O-40/O-50バスケ選手権 新規 参加者数 647人 ④ スポーツ合宿の誘致 ・バスケットボールキャラバン・サマーリーグin能代 349人 R4:251 ・帝京大準硬式野球部の合宿 約60名 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 ① 本物のバスケに触れられる街づくり ② バスケで誰もが集える環境づくり ③ バスケによる地域経済の活性化 ④ バスケがどこでも感じられる街づくり ・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール大会、バスケットボールフェスタ等の事業を市バスケットボール協会等に委託し継続した。 ・屋外バスケットリングの設置 市内公園等 21カ所23基（5年度末）						
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
	[説明] ・特色あるスポーツイベントの参加者数は4,144人で、目標値4,000人との差は+144人であった。 【バスケ関連イベント・大会及びきみまち二ツ井マラソンの参加者数の計】 5年度 4,144人 4年度 2,489人						

	※要因別の参加者数増加状況 きみまち二ツ井マラソンの参加者数の増 240 人増 中止となっていたイベントの開催 549 人増 全国大会の誘致（社会人 0-40/0-50 バスケット選手権） 697 人増
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・新型コロナの影響が軽減し、感染対策をとりながら大会やイベントを開催したが、コロナ前の状況には戻っていない状況となっている。一度スポーツを離れた方が、再度スポーツをするきっかけが必要と考える。 1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。 ・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）について、関係団体と連携し、効率的な伝え方を工夫していく。 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。

事業・取組	1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備						5-④
方針・目標	総合型クラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	スポーツ施設の人口1人当たりの年間利用者数 (実績値)=(年間利用者数)/(9月末人口)	目標	5.0人以上				
		実績	4.5人				
実績及び成果	1 地域のスポーツ指導者等の充実 ① 地域のスポーツ指導者の育成と活用 ・市スポーツ推進委員会、市スポーツ協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。 ・研修会参加等の支援を行った。 ・スポーツ少年団指導者資格数 38団体 234人 R4: 38団体 249人 ② スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援 ・市スポーツ協会スポーツリーダーバンク登録者数 12種目 22人 R4: 12種目 25人 2 スポーツ施設の充実 ① スポーツ施設の整備・改修 ・グラウンドゴルフ場 (R4. 10. 1供用開始) 1,638人 R4: 3,675人 ② 学校体育施設等の活用 ・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。 (淳城西小、淳城南小、第四小、第五小、向能代小) ③ 利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進 ・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。 ・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。 ・施設年間利用者数 220,184人 R4: 219,981人 ④ 自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進 ・市主催 のしろ歩け歩け大会 参加 55人 R4: 63人 ・指定管理者 マリンスポーツ教室 (米代川河口付近) 3 スポーツに関する表彰制度の整備 児童・生徒の表彰 (能代市栄光賞、市スポーツ協会スポーツ賞) を継続して行った。 ・能代市栄光賞 (スポーツ部門) 198人 R4: 241人 ・市スポーツ協会スポーツ賞 6人 R4: 4人						

点 検 ・ 評 価	評価	B		A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり												
				C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る												
	[説明] ・スポーツ施設の人口1人当たりの年間利用者数は4.5人で、目標値5.0人との差は△0.5人であった。 【スポーツ施設の利用状況】 (人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>219,981</td> <td>220,184</td> </tr> <tr> <td>9月末人口</td> <td>49,637</td> <td>48,559</td> </tr> <tr> <td>人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)</td> <td>4.4</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>						4年度	5年度	利用者数	219,981	220,184	9月末人口	49,637	48,559	人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)	4.4	4.5
	4年度	5年度															
利用者数	219,981	220,184															
9月末人口	49,637	48,559															
人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)	4.4	4.5															
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他 () [具体的な課題及び取組] ・新型コロナの影響が軽減し、感染対策をとりながら大会やイベントを開催したが、コロナ前の状況には戻っていない状況となっている。一度スポーツを離れた方が、再度スポーツをするきっかけが必要と考える。 1 地域のスポーツ指導者等の充実 ・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や人材の発掘等については、引き続き各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市スポーツ協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。 2 スポーツ施設の充実 ・適切な施設の維持管理を行う。 ・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。 ・長寿命化計画に基づき施設の改修計画の検討を行う。																

Ⅲ 教育委員会の運営状況

1 教育委員会の開催状況

(1) 開催状況

定例会 12回 臨時会 2回

(2) 審議された案件等

年月日	区 分	番 号	件 名
R5. 4. 27	定例会	承認 第2号	臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務局組織規則の一部改正について)
		承認 第3号	臨時代理の承認について (能代市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について)
		承認 第4号	臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について)
		承認 第5号	臨時代理の承認について (能代市立二ツ井図書館処務規程の一部改正について)
		議案 第23号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第24号	能代市教育支援委員会委員の任命について
R5. 5. 25	定例会	議案 第25号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第26号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第27号	能代市立図書館協議会委員の任命について
		議案 第28号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第29号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第30号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第31号	令和5年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R5. 6. 27	定例会		なし
R5. 7. 27	定例会		なし
R5. 8. 3	臨時会	議案 第32号	令和6年度使用能代市立小学校教科用図書の採択について
R5. 8. 24	定例会	承認 第6号	臨時代理の承認について (専決処分した令和5年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて)
		議案 第33号	第3次能代市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱の制定について
		議案 第34号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
		議案 第35号	令和5年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R5. 9. 26	定例会		なし

R5. 10. 30	定例会	承認 第 7 号	臨時代理の承認について (能代市生涯学習施設サン・ウッド能代の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について)
		議案 第 36 号	第 3 次能代市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について
R5. 11. 17	定例会	議案 第 37 号	令和 5 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 38 号	能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について (追加)
R5. 12. 22	定例会		なし
R6. 1. 19	定例会	承認 第 1 号	臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務局会計年度任用職員の報酬及び給料の額に関する規程の一部改正について)
		議案 第 1 号	能代市部活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について
		議案 第 2 号	令和 5 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 3 号	能代市部活動地域移行推進協議会委員の委嘱及び任命について
R6. 2. 19	定例会	議案 第 4 号	第 3 次能代市スポーツ推進計画について
		議案 第 5 号	令和 5 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 6 号	令和 6 年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について
R6. 2. 26	臨時会	議案 第 7 号	令和 6 年度能代市立小・中学校教職員の人事異動の内申について
R6. 3. 21	臨時会	議案 第 8 号	令和 6 年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について
R6. 3. 26	定例会	議案 第 9 号	能代市教育支援センター設置要綱の制定について
		議案 第 10 号	能代市学習用モバイルルーターの貸与に関する要綱の制定について
		議案 第 11 号	能代市就学援助支給要綱の一部改正について
		議案 第 12 号	能代市文化財等寄贈寄託受入要綱の一部改正について
		議案 第 13 号	能代市学校薬剤師の委嘱について
		議案 第 14 号	能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について
		議案 第 15 号	能代市二ツ井公民館分館長及び主事補の委嘱について
		議案 第 16 号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第 17 号	令和 6 年度能代市学校教育指導の重点について
		報告 第 1 号	令和 6 年度能代市社会教育施設等運営方針について

	議案 第 17 号	能代市学校歯科医の委嘱について
	議案 第 18 号	能代市学校薬剤師の委嘱について
	議案 第 19 号	能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について
	議案 第 20 号	能代市スポーツ推進委員の委嘱について
	議案 第 21 号	能代市子ども館指導員の任命について
	議案 第 22 号	令和 5 年度能代市学校教育指導の重点について
	報告 第 1 号	令和 5 年度能代市社会教育施設等運営方針について

2 教育委員の活動状況

年月日	行 事
R5. 6. 2	能代山本市町教育委員会連合会総会
R5. 7. 7	東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
R5. 8. 14	能代市成人式
R5. 9. 19	能代市教育委員会学校訪問（二ツ井小学校）
R5. 10. 19	能代市教育委員会学校訪問（第五小学校、能代東中学校）
R5. 11. 10	能代市教育委員会学校訪問（二ツ井中学校）
R5. 11. 10	秋田県市町村教育委員会連合会および秋田県都市教育長協議会合同研修会
R5. 11. 13	能代山本市町教育委員会連合会委員研修会
R5. 11. 20	未来を創る能代っ子ふるさと会議
R6. 1. 9	総合教育会議
R6. 3. 10	市内中学校卒業式
R6. 3. 12	市内小学校卒業式

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和5年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshiro.lg.jp